科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 5 日現在

機関番号: 17102 研究種目: 基盤研究(S) 研究期間: 2016~2020

課題番号: 16H06369

研究課題名(和文)抗原分子の油状ナノ分散化技術を利用した低侵襲性経皮ワクチンの創製

研究課題名(英文)Creation of Transdermal Drug Delivery Systems Using Solid-in-oil Nano-dispersion Technique

研究代表者

後藤 雅宏 (Goto, Masahiro)

九州大学・工学研究院・教授

研究者番号:10211921

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 130,000,000円

研究成果の概要(和文):痛みを伴わない非侵襲性の経皮デリバリーシステムが、従来の注射に変わる薬物投与法として注目されている。本研究では、簡便で高効率な経皮吸収を可能にする新たな経皮デリバリー技術、Solid-in-oil(S/O)ナノ分散化技術を開発した。このS/O技術を用いると、これまで経皮吸収が困難であったペプチドやタンパク質が、皮膚から吸収されることが明らかになった。この浸透技術を利用することで、がん、花粉症、インフルエンザさらにはマラリアの経皮ワクチンが創製可能となり、注射と同程度のワクチン効果(抗体産生)が得られることが、動物試験によって確認された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で開発したS/O技術によって、通常は経皮浸透が困難なワクチン抗原を、針を使わずに非侵襲的に投与が可能となった。このため、先端恐怖症の患者や注射の痛みを嫌がる小児に対しても、簡便かつ安全にワクチン投与を行うことができる。このような経皮吸収型のワクチンシールは、投与の際に医療従事者を必要としないため、病院に行かなくとも自己投与が可能である。さらに、医療従事者が十分でない発展途上国におけるワクチン供与、緊急時の大規模接種が可能となる等、感染症対策における新たなワクチン投与法として期待される。

研究成果の概要(英文): Non-invasive, painless transdermal delivery systems are attracting attention as an alternative drug administration method to conventional injections. In this study, we have developed a new transdermal delivery technology, called solid-in-oil (S/O) nano-dispersion technology, which enables simple and efficient transdermal delivery of biopharmaceutics. Using this S/O technology, peptides and proteins that have been difficult to deliver transdermally can now be delivered through the skin. Animal studies have confirmed that transdermal vaccines for cancer, hay fever, influenza, and malaria can be created by using this permeation technology, and that the vaccine effect (antibody production) is comparable to that of injections.

研究分野: バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連

キーワード: 経皮ワクチン DDS 経皮吸収 薬物キャリア ナノ粒子 経皮免疫 花粉症ワクチン イオン液体

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様 式 C-19、F-19-1、Z-19(共通)

1. 研究開始当初の背景

<u>経皮免疫法</u>とは、ウイルスなどの抗原を皮膚から投与し、体内の抗原特異的な免疫力を増強・記憶させ、以後その病気にかかりにくくする"<u>塗り薬型のワクチン療法</u>"である。これまでの成果によって、ワクチンは特定感染症に対する最も有効かつ経済的な予防策であることが認識されている。しかしながら、<u>ワクチン投与は、これまで注射によってのみ</u>行われている。

その最大の障壁は、表皮最外層の**角層によるバリア機能**にある。角質層(厚さ約 15 μm)は死細胞から成る**疎水性の高い多層膜**で、外因性物質の**皮膚浸透において最も高いバリア能**を示す。一方で、ワクチンに用いられる抗原は、その<u>ほとんどがタンパク質などの親水性高分子であるた</u>め、角層の通過は困難であることが知られていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、生体分子の油状ナノ分散化技術 Solid-in-0il(S/0技術)を利用し、今まで注射でしか投与できなかったワクチンを、塗り薬あるいは貼り薬として投与できる "経皮吸収製剤型のワクチン(経皮免疫システム)"を創製することにある。

| 我々はこれまでに、 S/O 技術を 利用してバイオ医薬品の皮膚浸透性の向上に成功したので、この技 術を利用して高効率な経皮免疫シ ステムを構築し、人類の健康と福 祉に貢献することを目的とする。



図 1 研究の目的と戦略

3. 研究の方法 [① 研究方法]

■本研究期間内に何を明らかにするのか

本研究では油状ナノ分散化技術 による経皮ワクチンの成果をさら に発展させ、実利用可能なシステ ムの創製を目指した。具体的には、 ①経皮がん免疫療法と②花粉症等 の経皮アレルギー減感作療法への 応用という2つの目標を掲げ、こ れまで行ってきたモデル抗原タン パク質による研究から、<u>より実際</u> の免疫治療に近い形での評価を行 った。さらに、適切な経皮吸収促進 剤や免疫賦活剤(アジュバント)等 の添加を行い、より高いワクチン 効果の産生に挑戦し、本システム が臨床応用可能なレベルにあるか を検証した。

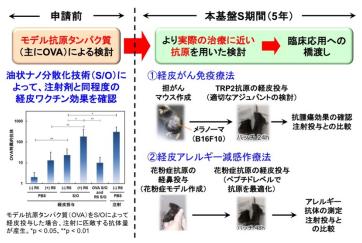


図2 本研究期間に行う実験計画

①経皮がん免疫療法

皮膚がんの一種であるメラノーマ (B16F10 細胞) を用い、抗原にはメラノーマ特異的に発現する tyrosinase related protein-2 (TRP-2) のペプチド抗原 (配列: SVYDFFVWL) を選択した。CpG ODN や R-848 等のアジュバント等を添加した TRP-2 封入 S/O 製剤を、メラノーマ移植前 (予防) あるいは移植後 (治療) のマウス耳介に塗布することで免疫化を行い、<u>腫瘍成長の抑制や延命効果</u>を評価した。また B16F10 細胞は**転移性である**ことから、本免疫システムが、<u>がんの転移抑制</u>にも効果があるかどうかを検証した。

②経皮アレルギー減感作ワクチン療法

日本国民の4人に1人が罹患しているとの報告がある<u>スギ花粉症を対象</u>として、経皮ワクチンによる治療効果を評価した。抗原タンパク質の一部分を使用する「T細胞エピトープペプチド」を用いた免疫療法は、<u>重篤な副作用を引き起こさず</u>、治療期間の短縮を見込める治療法として期待される。本研究では、スギ抗原由来のヒトT細胞エピトープペプチド(7crp)を用い、ペプチドサイズと徐放性や皮膚浸透性との関連を調べ、スギ花粉症モデルマウスを作製し、アジュバント添加の効果などを検証した。

③モデル抗原から実抗原への展開 (インフルエンザとマラリアワクチン)

臨床試験への橋渡しについては、上記のがんや花粉症ペプチド療法では、経皮ワクチンについて研究期間内に早期の臨床試験実施の見通しを立てることは困難であったが、九州大学臨床センター(ARO)と KM バイオロジクス (旧化血研)の協力で、ヒト用に実用化されている<u>インフルエンザワクチン</u>を提供いただいた。そこで本研究では、インフルエンザに対する S/O 製剤の可能性を検討し、ワクチン効果を小動物(マウス)を用いて確認した。さらに、本研究で得られた知見を利用し、<u>マラリアワクチン</u>の経皮製剤化を、鹿児島大学との共同研究によって実施し、そのワクチン効果も検討した。

4. 研究成果

[① 本研究課題による研究成果]

(1) がん免疫療法への応用

以前の検討では、 $\underline{\mathtt{EFLOO}}$ がん抗原(OVA)と、OVA 抗原を人為的に提示させたがん細胞を用いて、本 S/O 製剤のがんワクチンとしての有効性を示した [Hirakawa et al., Med. Chem. Comm., 6,1387,2015]。そこで本基盤 S においては、 $\underline{\mathtt{EHLCUN}}$ がん抗原として、メラノーマ(悪性度の高い皮膚がんの一種)由来の TRP-2 ペプチドを用いた。 $\underline{\mathtt{TRP-2}}$ はヒト・マウスに共通した抗原であり、本研究の目標である臨床応用に向けた実証実験に適した抗原である。

このような自然発生の抗原(自己抗原)は、外来抗原である OVA と比較して免疫反応を誘起しにくいことが知られている。そこで抗原ペプチドの改変(具体的には親水性配列を導入し皮膚浸透性を高めた K-TRP-2: KKKG-SVYDFFVWL の利用)を行うとともに、使用する界面活性剤の種類や構成比、免疫賦活剤の種類の観点から S/O 製剤の最適化を行い、マウス皮膚に対して約10%の K-TRP-2 抗原を体内に送達できる S/O 製剤化に成功した(従来 OVA 抗原の送達量は数%程度であった)。

この製剤を用いて C57BL/6N マウスに一週間おきに計 2 回の免疫化を行った後、メラノーマ (B16F10 細胞) の皮下移植を行った。その結果、未処置群のマウスと比較して<u>有意な腫瘍成長の抑制</u>が認められた (図 3A)。注目すべきことに、半数程度のマウスにおいて、がんが生着しない「腫瘍拒絶」が見られ、S/O 製剤による腫瘍抑制効果や延命効果は、皮下注射により免疫化を行ったマウスよりも高いことが分かった (図 3B)。さらに<u>肺転移性も有意に抑制した</u>(図 3C)。以上のように、本 S/O 製剤が実がんに対しても高い抗腫瘍効果を示すことが明らかとなった [Wakabayashi et al., $Mol.\ Pharm.$, 15, 955, 2018]。これらのメカニズムについて免疫学的解析を行った結果、免疫賦活剤と S/O との併用により、皮膚中の免疫細胞が、抗原を効率的に捕捉し活性化されること (図 3D)、それにより抗原特異的な障害活性を持つ免疫細胞が産生されること (図 3E) により、がんの予防と治療を可能としていることが確認された [Wakabayashi et al., ACS $Biomater.\ Sci.\ Eng.$, 5, 2297, 2019]。

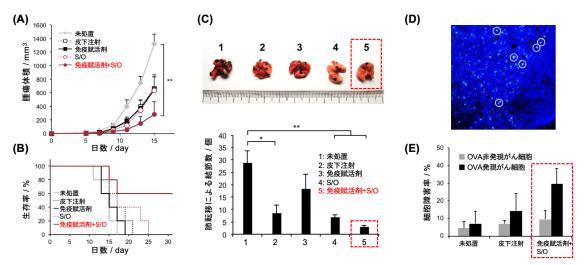


図 3 (A-C) S/O 製剤を用いたメラノーマに対するがん免疫. (A) 腫瘍抑制効果, (B) 延命効果, および (C) 転移抑制効果. N = 5, mean ± SE, *p < 0.05, **p < 0.01. (D, E) S/O 製剤を用いたがん免疫メカニズムの検証. (D) リンパ節に遊走したがん抗原を捕食した抗原提示細胞 (図中○印). (E) がん抗原特異的な細胞障害性. N = 3.

さらに抗原の経皮吸収を促進させるために、**経皮吸収促進効果を持つ**I**イオン液体** (IL) **の利用** を検討した。生体材料由来であるコリンカチオンと種々の脂肪酸アニオンからなる IL を合成したところ、コリンとオレイン酸からなる [Cho][C18:1]が高い経皮吸収促進効果と細胞適合性を併せ持つ (図 4A) ことが明らかとなった [Tahara et al., *Mol. Pharm.*, 17, 3845, 2020]。

また、がん免疫療法においては、細胞性免疫を活性化する必要があり、免疫細胞への抗原と免疫賦活剤の同時作用が重要となる。この観点から、S/O 粒子と免疫賦活剤を内包したエマルション製剤の開発を行い、現在認可を受けているエマルション製剤と比較しても、有意に高い抗体産生と抗がん活性を示すことが示された (図 4B)。このエマルション製剤は、医薬品添加物のみから構成されるため、新たなワクチン製剤としての実利用が期待される [Tahara et al., Biomaterials, 282, 121385, 2022]。

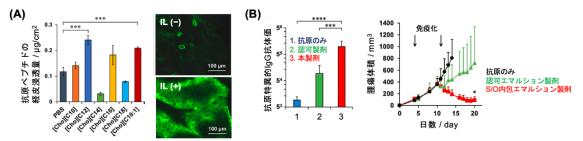


図 4 (A) IL による抗原ペプチドの経皮吸収促進効果. N = 3, ***p < 0.001. (B) S/O 粒子内包エマルション製剤による抗原特異的抗体産生 (n = 5–6, ***p < 0.001, ****p < 0.0001) と腫瘍抑制効果 (n = 6–8, *p < 0.05).

(2) 経皮アレルギー減感作療法のための経皮ペプチドワクチン

これまでの研究で、スギ花粉症の治療に効果があると報告のあった7個のヒトT細胞エピトープ配列を混ぜてS/O製剤化したものや、1本のペプチドとして連結させてS/O製剤化したものが、皮膚から効率よく浸透し、アレルギー免疫療法に有効であることを報告した。

今回、さらに対象を絞り、1種類のスギ花粉アレルゲン由来のT細胞エピトープ (PepA) を S/O 製剤化して検討を行った。まず、緑色蛍光色素のフルオレセインで標識した PepA を用い、S/O 製剤を調製した。 *In vitro* でマウス皮膚へ投与した結果、この蛍光標識 PepA がマウスの角層を通り抜けて表皮に浸透していることが、蛍光顕微鏡観察により明らかとなった。

さらに、同じマウス皮膚の共焦点顕微鏡画像では、ペプチドが角層細胞の細胞間隙を通って深部へと浸透している状態が観察された(図 5-1)。即時型アレルギー(I型アレルギー)疾患では、免疫グロブリン E (IgE)がアレルギー反応に関与しており、症状の強い患者ほど血中の IgE 値が高く検出される傾向にある。そのため、血中 IgE 値は疾患の指標として広く用いられている。スギ花粉抽出液を用いてスギ花粉 I型アレルギーを発症させたモデルマウスに、このエピトープペプチドを内包する S/O 製剤を経皮投与したところ、同じペプチドの PBS 溶液を皮下注射した場合に比べてより効率よく血中 IgE 値の減少を引き起こすことが確認され(図 5-2)、スギ花粉症の治療への応用が待たれる。[Higashijima et al., Membrane., 46(4), 226-232, 2021]。

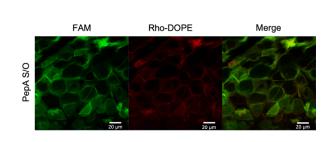


図 5-1 Solid-in-oil 製剤を投与したマウス皮膚の共焦点レーザー顕微鏡画像. 緑色蛍光標識ペプチド (PepA)と赤色蛍光標識界面活性剤(Rho-DOPE) を用い、S/Oを調製し、マウス皮膚に 4 時間投与した。どちらの蛍光も細胞間隙で観察された。

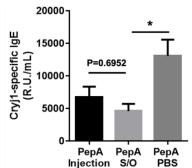


図 5-2 Solid-i-oil 製剤を 3 週間投与後の花粉症モデルマウス血中の抗原特異的 IgE 値. 比較として、同じペプチドワクチンの PBS 溶液を皮下注射により投与(PepA Injection)、または経皮投与(PepA PBS)した。データは平均値 \pm SEM (n=6) を示す。*p < 0.05

(3) インフルエンザのワクチン開発

季節性インフルエンザは世界中で流行を繰り返しており、年間死亡者数は世界で $25\sim50$ 万人、日本で約 1 万人と推計されている。特に 5 歳以下の乳幼児ではインフルエンザ脳症を発症する可能性もあり、ワクチンによる予防が強く望まれる。そこで今回、4ンフルエンザワクチンとして使用されるヘマグルチニンを、50 経皮製剤化した。

ヘマグルチニンは 1 分子あたり 60 kDa の 3 量体タンパク質であり、熱安定性が低いことが知られている。S/O 製剤を調製する際に、タンパク質の安定化剤として使用されるトレハロース、マンニトール、または、グリセロールを同時に内包させて調製し、ヘマグルチニンの PBS 溶液への放出率を比較した。その結果、トレハロースを含む S/O 製剤からのヘマグルチニン放出性が最も高く、PBS 溶液に放出後もヘマグルチニンが最も安定に存在する可能性が示された(図 6-1B)。

さらに、免疫賦活剤としてイミキモドを含むヘマグルチニン S/O 製剤を、除毛したマウス背部 に 24 時間ずつ 3 回ワクチン投与したところ、血中のヘマグルチニン特異的な免疫グロブリン G (IgG) 抗体値が上昇することが確認され (図 G-2)、G 製剤が経皮インフルエンザワクチンとして有望であることが示唆された。

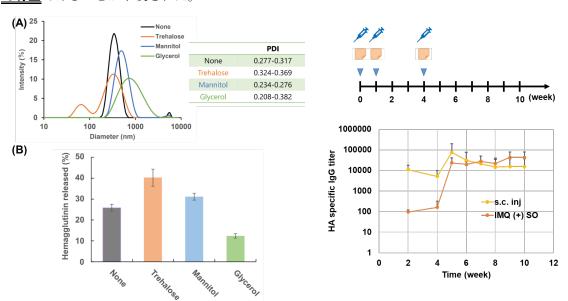


図 6-1 Solid-in-oil 製剤の S/O 製剤化. (A) 粒子径分布, (B) S/O 製剤から PBS 溶液へのヘマグルチニン放出率

図 6-2 マウス血中のヘマグルチニン (HA) 特異的 IgG 値の推移.

Pvs25 from

(4)マラリアの経皮ワクチン開発

三日熱マラリア原虫(*Plasmodium vivax*)の**ワクチンの候補抗原である Pvs25(図 7A)**を S/O 製剤化し、経皮投与による免疫誘導について検討した。まず、カイコ-バキュロウイルスタンパク質

(A)

発現系を用いて Pvs25 を調製し、S/O 製剤を作成した結果、粒径 200 nm 以下の安定な S/O ナノ粒子を得ることに成功した(図7B)。

豚皮膚を用いた in vitro 経皮浸透性試験の結果、Pvs25 水溶液では皮膚への浸透が全く見られなかったのに対して、S/O 製剤では、皮膚内部への浸透を確認した。

さらに、この S/O 製剤を BALB/c マウスに経皮投与し、Pvs25 に対する抗体産生を評価した結果、アジュバントを添加した注射投与群に匹敵する抗体価が得られた。また、注射投与群では 18 日目以降の抗体価が徐々に低下した一方、S/O 製剤による投与群では免疫後 46 日まで抗体価が上昇する結果が得られ、経皮投与による長期的な免疫機能の刺激が起きていることが示唆された。これらの結果より、S/O 製剤の安全かつ、効果的なマラリアワクチンの投与法としての利用可能性が示された。

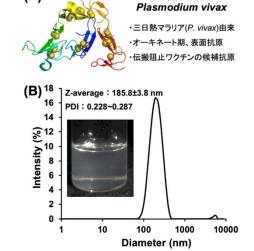


図 7 経皮マラリアワクチンの S/O 製剤化 (A) 経皮マラリアワクチン候補抗原 Pvs25, (B)Pvs25 の S/O 製剤の外観ならびに DLS 測定結果

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計64件(うち査読付論文 60件/うち国際共著 18件/うちオープンアクセス 9件)

〔 雑誌論文〕 計64件(うち査読付論文 60件/うち国際共著 18件/うちオーブンアクセス 9件)	
1 . 著者名 Kozaka S.、Wakabayashi R.、Kamiya N.、Goto M.	4.巻 138
2.論文標題 Lyotropic liquid crystal-based transcutaneous peptide delivery system: Evaluation of skin permeability and potential for transcutaneous vaccination	5 . 発行年 2022年
3 . 雑誌名 Acta Biomaterialia	6.最初と最後の頁 273~284
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.actbio.2021.11.008	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Tahara Yoshiro、Mizuno Riko、Nishimura Tomoki、Mukai Sada-atsu、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Akiyoshi Kazunari、Goto Masahiro	4 . 巻 282
2.論文標題 A solid-in-oil-in-water emulsion: An adjuvant-based immune-carrier enhances vaccine effect	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 Biomaterials	6 . 最初と最後の頁 121385~121385
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biomaterials.2022.121385	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Kozaka Shuto、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	4.巻 13
2.論文標題 Design of Swollen Lipidic Cubic Phase to Increase Transcutaneous Penetration of Biomacromolecules	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6 . 最初と最後の頁 54753~54761
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.1c16659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Imoto Takayuki、Sakata Mizki、Goto Masahiro	4.巻 50
2.論文標題 Anti-pollution Effects of Self-assembled Fibers Prepared from a Palmitoyl-glycine-histidine Amphiphile	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Chemistry Letters	6 . 最初と最後の頁 1938~1940
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.210377	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

4 ### 6	. 244
1 . 著者名 Moshikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	4 . 巻 608
3 - 22 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 14 - 	F 364-7-
2.論文標題 Methotrexate-based ionic liquid as a potent anticancer drug for oral delivery: In vivo pharmacokinetics, biodistribution, and antitumor efficacy	5 . 発行年 2021年
	6 見知と見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Pharmaceutics	121129 ~ 121129
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijpharm.2021.121129	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Islam Md. Rafiqul、Uddin Shihab、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、 Goto Masahiro	13
2.論文標題	5 . 発行年
Insulin Transdermal Delivery System for Diabetes Treatment Using a Biocompatible Ionic Liquid-Based Microemulsion	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ACS Applied Materials & Interfaces	42461 ~ 42472
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1021/acsami.1c11533	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	T . w
1 . 著者名 Goto Masahiro、Higashijima Koki、Kitaoka Momoko	4. 巻 46
2.論文標題	5.発行年
Development of Transdermal Vaccines for Pollinosis Immunotherapy Using Oil Based Nanodispersion Carriers Containing Antigen Epitopes	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
MEMBRANE	226 ~ 232
WEWDIANE	
	直読の有無
	査読の有無有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226	有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Uddin Shihab、Islam Md. Rafiqul、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	有 国際共著 - 4.巻 4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	有 国際共著 - 4.巻 4 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 4 5 . 発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Uddin Shihab、Islam Md. Rafiqul、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Lipid-Based Ionic-Liquid-Mediated Nanodispersions as Biocompatible Carriers for the Enhanced Transdermal Delivery of a Peptide Drug 3.雑誌名 ACS Applied Bio Materials	有 国際共著 - 4 . 巻 4 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Uddin Shihab、Islam Md. Rafiqul、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Lipid-Based Ionic-Liquid-Mediated Nanodispersions as Biocompatible Carriers for the Enhanced Transdermal Delivery of a Peptide Drug 3.雑誌名 ACS Applied Bio Materials	有 国際共著 - 4 . 巻 4 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 6256~6267
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.46.226 オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 4 . 巻 4 . 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 6256~6267

Incito Takayuki, Goto Nasahiro 37 2. 前文構造 5. 持行年 2021年 2		
2. 論文権題 Self-Assembled Palmitoyl-Glycine-Histidine as a Permeation Enhancer for Transdermal Delivery 2021年 3. 納証名 Langmuir	1.著者名	4 . 巻
3. 精議名 Languuir 1. 著名名 Moshikur Rahman Md, Miskabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Woshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Washakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 2. 為文雅聖 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 表名 Gotophiru Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 2. 為文雅聖 1. 著名 Gotophirum Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 3. Missa	Imoto Takayuki、Goto Masahiro	37
3. 精議名 Languuir 1. 著名名 Moshikur Rahman Md, Miskabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Woshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Washakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Wasahiro 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 著名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 2. 為文雅聖 1. 著名名 Choedhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 1. 表名 Gotophiru Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 2. 為文雅聖 1. 著名 Gotophirum Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto 3. Missa	2 *A	F 361-7-
3 一		
Angenit An	Self-Assembled Palmitoyi-Glycine-Histidine as a Permeation Enhancer for Transdermal Delivery	2021年
Angenit An	3 雑誌名	6 最初と最後の百
類談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Mochikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Wuhammad、Goto Masahiro 2. 論文権題 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis、 Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3. 練誌名 Molecular Pharmaceutics 4. 巻 10. 1021/acs.molpharmaceut.1c00324 オープンアクセス 本・プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Wuhammad、Goto Masahiro 2. 論文権題 Biocompatible Ionic Liquid-Wediated Micelles for Enhanced Transdernal Delivery of Paclitaxel 3. 練誌名 Hasiaix CMDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 10. 1021/acs.molpharmaceut.1c00324 4. 巻 1. 著名名 Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2. 論文権題 Biocompatible Ionic Liquid-Wediated Micelles for Enhanced Transdernal Delivery of Paclitaxel 3. 練誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 4. 巻 1. ぞ名名 Chowthury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2. 論文権題 Biocompatible ionic Liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 練誌名 I. 茶名名 Chowthury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2. 論文権題 Biocompatible ionic Liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 練誌名 International Journal of Pharmaceutics 4. 巻 6. 最初と最後の頁 1. 2021年 6. 最初と最後の頁 1. 2028年 6. 最初と最後の頁 1. 2028年 6. 最初に最初により、第221年 6. 最初に最初により、第221年 6. 最初に最初により、第221年 7. 一プンアクセス 8. 最初により、第221年 7. 最初により、第22	*****	
1.021/acs.langmuir.1c00889 有	Langillati	09/1 ~ 09//
1.021/acs.langmuir.1c00889 有		
日際共著		
1. 著名名 Woshikur Rahman Md、Ali Md、Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 10 2. 論文標語 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3. 職話名 Wolecular Pharmacoeutics 6. 最初と最後の頁 3108-3115 一般	10.1021/acs.langmuir.1c00889	有
1. 著名名 Woshikur Rahman Md、Ali Md、Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 10 2. 論文標語 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3. 職話名 Wolecular Pharmacoeutics 6. 最初と最後の頁 3108-3115 一般	オープンアクセス	国際共著
Moshikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3 . 雑誌名 Molecular Pharmaceutics 6 . 最初と最後の頁 3108-3115 [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1021/acss.molpharmaceut.1c000324 7 ープンアクセス 1 . 著名名 Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 1 . 第 2 . 論文課題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 4 . 整 19745 - 19755 [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1021/acsami.1c03111 7 ープンアクセス 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 1 . 正述書名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Moshikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3 . 雑誌名 Molecular Pharmaceutics 6 . 最初と最後の頁 3108-3115 [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1021/acss.molpharmaceut.1c000324 7 ープンアクセス 1 . 著名名 Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 1 . 第 2 . 論文課題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 1 . 著名名 ACS Applied Materials & Interfaces 4 . 整 19745 - 19755 [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1021/acsami.1c03111 7 ープンアクセス 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 1 . 正述書名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 1 . 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文課題		
2. 論文標題 Favipiravir-Based Ionic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, 2021年 3. 報話名 Molecular Pharmacekinetic Evaluation 3. 報話名 Molecular Pharmaceutics おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3. 報話名 ACS Applied Materials & Interfaces 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/acsami.tco3111 オープンアクセス 国際共著 第300月無 有 4. 巻 10745 ~ 19755 電談の有無 有 1 ※著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 1 ※著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 1 ※著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 3. 練話名 1 … 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 3. 練話名 1 … 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 3. 練話名 1 … 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 4 … 巻 601 Masahiro 1 … 著名名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2 … 論文標題 第2021年 第2021年 第2021年 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 日際共著	1.著者名	4 . 巻
Favipiravir-Based Lonic Liquids as Potent Antiviral Drugs for Oral Delivery: Synthesis, Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3. 雑誌名 Reiser (1. 元 の	Moshikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	18
Solubility, and Pharmacokinetic Evaluation 3 . 雑誌名 Nolecular Pharmaceutics 6 . 最初と最後の頁 3108-3115 超談ののDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.molpharmaceut.1c00324	2 . 論文標題	5 . 発行年
3. 機能名 Molecular Pharmaceutics 6. 最初と最後の頁 3108~3115		2021年
Molecular Pharmaceutics 3108 - 3115 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.molpharmaceut.1c00324		6、最初と最後の百
### 10.1021/acs.molpharmaceut.1c00324		
### 10.1021/acs.molpharmaceut.1c00324		
### 10.1021/acs.molpharmaceut.1c00324	掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	査詰の右無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
### 1 ** *** *** *** *** *** *** *** ***	10.1021/acs.morpharmaccut.1000024	F
Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces おっプンアクセス 「国際共著 1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 本オープンアクセス 国際共著 を発行年 1. 意味の有無 1. 可以下のセス 「国際共著 「日本アンアクセス 「国際共著	オープンアクセス	
Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.1c03111 カーブンアクセス 1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 1. 意義の有無 2021年 6. 最初と最後の頁 120582~120582 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 1. 重読の有無 2. 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Ali Md. Korban, Moshikur Rahman Md. Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.1c03111 カーブンアクセス 1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md., Wakabayashi Rie, Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 1. 意義の有無 2021年 6. 最初と最後の頁 120582~120582 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 1. 重読の有無 2. 国際共著		
2 . 論文標題 Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 相戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.1c03111 オープンアクセス I国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics お . 単行年 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 国際共著 5 . 発行年 6 . 最初と最後の頁 120582~120582	1.著者名	4 . 巻
Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 2021年 3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 6 . 最初と最後の頁 19745~19755 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	13
Biocompatible Ionic Liquid-Mediated Micelles for Enhanced Transdermal Delivery of Paclitaxel 2021年 3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 6 . 最初と最後の頁 19745~19755 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2 绘文種類	5
3 . 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces 「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.1co3111 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「意読の有無 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 「表読の有無 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 「本プンアクセス 「国際共著 「表読の有無 「おいた関係の頂」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の有無 「おいた関係の可」に対します。「表読の可)に対します。「表読の可)に対します。「表述の)に対します。「表述の可)に対します。「表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表述の言意、表		
ACS Applied Materials & Interfaces 19745~19755 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1・著者名 Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2・論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3・雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 5・最初と最後の頁 120582~120582 10・10/16/j.ijpharm.2021.120582 国際共著 10・10/16/j.ijpharm.2021.120582 国際共著	Broompatible forms Enquire modificed infootings for Emignoed Transactinal Bettivery of Facilitates	2021—
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
10.1021/acsami.1c03111 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する	ACS Applied Materials & Interfaces	19745 ~ 19755
10.1021/acsami.1c03111 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する		
10.1021/acsami.1c03111 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセス 1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2. 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3. 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 「表現の表現のでは、「では、これでは、「ないでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1.著者名 Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 「表彰の有無 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 国際共著	10110 <u>2</u> 17 3303	13
1 . 著者名 Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 国際共著	オープンアクセス	
Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto 2.論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 120582 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md.、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Goto 2.論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 120582 有 オープンアクセス 国際共著	1 菜耂夕	л Х
Masahiro 2.論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 有 オープンアクセス ■ Masahiro 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 120582~120582		_
2.論文標題 Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy5.発行年 2021年3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics6.最初と最後の頁 120582~120582掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant for cancer immunotherapy 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 オープンアクセス Biocompatible ionic liquids assisted transdermal co-delivery of antigenic protein and adjuvant 2021年 6.最初と最後の頁 120582~120582 在読の有無 有		5.発行年
for cancer immunotherapy 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 オープンアクセス 「有 国際共著		
International Journal of Pharmaceutics 120582 ~ 120582 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1016/j.ijpharm.2021.120582 有 オープンアクセス 国際共著	for cancer immunotherapy	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	
10.1016/j.ijpharm.2021.120582 有 オープンアクセス 国際共著	International Journal of Pharmaceutics	120582 ~ 120582
10.1016/j.ijpharm.2021.120582 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1016/j.ijpharm.2021.120582 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
オープンアクセス 国際共著	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	オープンアクセス	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	オーフンアクセフではない、ソはオーブンアクセフが困難	該当する

1. 著者名	
Kitaoka Momoko、Nguyen Trung Cong、Goto Masahiro	4.巻 43
2.論文標題	5.発行年
Water in oil microemulsions composed of monoolein enhanced the transdermal delivery of nicotinamide	2021年
3.雑誌名 International Journal of Cosmetic Science	6.最初と最後の頁 302~310
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ics.12695	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Moshikur Rahman Md、Ali Md. Korban、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	4.巻 56
2.論文標題 Recent advances in surface-active ionic liquid-assisted self-assembly systems for drug delivery	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Current Opinion in Colloid & Interface Science	6.最初と最後の頁 101515~101515
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.cocis.2021.101515	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Ali Md. Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	4.巻 8
2.論文標題 Biocompatible Ionic Liquid Surfactant-Based Microemulsion as a Potential Carrier for Sparingly Soluble Drugs	5.発行年 2020年
3.雑誌名 ACS Sustainable Chemistry & Engineering	6.最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1021/acssuschemeng.9b07773	有
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	該当する 4.巻 12
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kitaoka Momoko、Xiao Wei、Kong Qingliang、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題	4.巻 ¹² 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kitaoka Momoko、Xiao Wei、Kong Qingliang、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 A Solid-in-Oil Nanodispersion System for Transcutaneous Immunotherapy of Cow's Milk Allergies 3 . 雑誌名	4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kitaoka Momoko、Xiao Wei、Kong Qingliang、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 A Solid-in-Oil Nanodispersion System for Transcutaneous Immunotherapy of Cow's Milk Allergies 3 . 雑誌名 Pharmaceutics	4 . 巻 12 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 205~205

	1 . w
1.著者名	4.巻
Kozaka Shuto, Tahara Yoshiro, Wakabayashi Rie, Nakata Takahiro, Ueda Taro, Kamiya Noriho, Goto	17
Masahiro	
2.論文標題	5.発行年
·····	2020年
Transcutaneous Cancer Vaccine Using a Reverse Micellar Antigen Carrier	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecular Pharmaceutics	645-655
	0.000
4月 幸! <u> </u>	本共の大価
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1021/acs.molpharmaceut.9b01104	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カーランナンと人にはない、人はカーランナンとスが四年	_
	T
1.著者名	4 . 巻
Moshikur Rahman Md、Chowdhury Md Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、	299
Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro	
2 . 論文標題	5
·····	5.発行年
lonic liquids with N-methyl-2-pyrrolidonium cation as an enhancer for topical drug delivery:	2020年
Synthesis, characterization, and skin-penetration evaluation	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Molecular Liquids	112166 ~ 112166
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.mollig.2019.112166	有
10.1010/j.morriq.2019.112100	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
—	_
Kong Qingliang、Kitaoka Momoko、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	12
2. 論文標題	5.発行年
	5 . 発行年
2 . 論文標題 Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis	5 . 発行年 2020年
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis	2020年
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis	
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis	2020年
3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics	2020年 6 . 最初と最後の頁 240~240
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6 . 最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics	2020年 6 . 最初と最後の頁 240~240
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 -
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 -
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3 . 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3 . 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3 . 雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3 . 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398 査読の有無 有
Solid-in-Oil Nanodispersions for Transcutaneous Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis 3.雑誌名 Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pharmaceutics12030240 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 A Novel Binary Supercooled Liquid Formulation for Transdermal Drug Delivery 3.雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b19-00642	2020年 6.最初と最後の頁 240~240 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 43 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 393~398

1.著者名	4 **
	4.巻
Kong Qingliang、Higasijima Kouki、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kitaoka Momoko、Obayashi	11
Hiroki、Hou Yanting、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	
2 . 論文標題	5.発行年
Transcutaneous Delivery of Immunomodulating Pollen Extract-Galactomannan Conjugate by Solid-in-	2019年
Oil Nanodispersions for Pollinosis Immunotherapy	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Pharmaceutics	563 ~ 563
Filatiliaceutics	303 - 303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>
10.3390/pharmaceutics11110563	有
オープンアクセス	国際共 業
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Kong Qingliang、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	572
2 . 論文標題	5.発行年
Solid-in-oil nanodispersions for intranasal vaccination: Enhancement of mucosal and systemic	2019年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2010-
immune responses 3.雑誌名	6 早知と早後の百
	6.最初と最後の頁
International Journal of Pharmaceutics	118777 ~ 118777
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijpharm.2019.118777	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	569
Hirakawa Yuya、Ueda Hiroshi、Miyano Tetsuya、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	569
0 *A-LIEUX	5 3V/= / T
2.論文標題	5.発行年
New insight into transdermal drug delivery with supersaturated formulation based on co-	2019年
New insight into transdermal drug delivery with supersaturated formulation based on co- amorphous system	2019年
amorphous system	2019年 6.最初と最後の頁
amorphous system 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
amorphous system	
amorphous system 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6 . 最初と最後の頁 118582~118582
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6 . 最初と最後の頁 118582~118582
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2.論文標題	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567 5 . 発行年
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2.論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567 5 . 発行年 2019年
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
amorphous system 3.雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2.論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567 5 . 発行年 2019年
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 118495~118495
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 118495~118495
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 567 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 118495~118495
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Nagao Seiya、Yamamoto Emiko、Shirakigawa Nana、Wakabayashi Rie、Goto Masahiro、Ijima Hiroyuki、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 A nano-sized gel-in-oil suspension for transcutaneous protein delivery 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118495	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 118495~118495
amorphous system 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2019.118582 オープンアクセス	6.最初と最後の頁 118582~118582 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 567 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 118495~118495

1. 著名名 Muracke Daisuke, Seo Nachiro, Hayashi Tae, Tahara Yoshiro, Fujii Keisuke, Tawara Isao, Miyahara Yoshihiro, Chamori Kama, Yagita Hidso, Inoto Seiya, Yamaguchi Rui, Konura Witsuhiro, Miyano Satoru, Gord Mashiro, Sando Shin-chi, Asai Kira, Ikeda Hiroshi, Akiyoshi Kazunari, Harada 123 124 124 125		
Antigen delivery targeted to tumor-associated macrophages overcomes tumor immune resistance 2019年 3. 練誌名 Journal of Clinical Investigation 1278-1294	Yoshihiro, Okamori Kana, Yagita Hideo, Imoto Seiya, Yamaguchi Rui, Komura Mitsuhiro, Miyano Satoru, Goto Masahiro, Sawada Shin-ichi, Asai Akira, Ikeda Hiroaki, Akiyoshi Kazunari, Harada Naozumi, Shiku Hiroshi	· -
Journal of Clinical Investigation 1278 - 1294 類観論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		
1. 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Kamiya Noriho, Moniruzzaman Wahamad, Goto Masahiro Developman Wahamad, Goto Masahiro Developman of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity 3. 雑誌名 Chemical Communications 「表者名 Chemical Communications 「素者名 Chemical Communications 「素者名 Rozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 2. 論文標題 「Original Contribution] Skin Permeation Enhancement of Bicactive Nacromolecules by Reverse Micelles Micelles Micelles Raimia文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5390/membrane.44.130 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 「お者名 Ramadhan Wahyu, Kagawa Genki, Hamada Yusei, Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masahiro, Kamiya Noriho ユーブンアクセス 「表者名 Ramadhan Wahyu, Kagawa Genki, Hamada Yusei, Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masahiro, Kamiya Noriho 2. 論文程題 Enzymatically Prepared Dual Functional ized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation 3. 純誌名 ACS Aplied Bio Materials 「表義のフェルステクルオブジェクト識別子) 10.1021/acsabm.9b00275 「最続論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsabm.9b00275		
1 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Kaniya Noriho, Monitruzzanan Muhammad, Goto Masahiro 2 論文標題 Development of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity 3 練話名 Chemical Communications 「デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/CSCCO2812A オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「不著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Rozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Rozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 著者名 Rozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 2. 論文標題		
1 著者名 Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Kaniya Noriho, Morinuzzama Nuhammad, Coto Masahiro 2 論文標題 Development of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity 3 雜話名 Chemical Communications 信義識索文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/CSCC002812A オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 2 論文標題 「Original Contribution】 Skin Permeation Enhancement of Bioactive Wacromolecules by Reverse Micelles 3 雜誌名 MEMBRANE 「表者名 Ramachan Vahyu, Kagawa Genki, Hanada Yusei, Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masshiro, Zaima Shiro, Ugdオープンアクセスが困難 1 著者名 Ramachan Vahyu, Kagawa Genki, Hanada Yusei, Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masshiro, Kamiya Moriho 2 論文標題 Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation 3 雜誌名 ACS Applied Bio Materials 「表表の日本語表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		
Chowdhury Md. Raihan, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Kaniya Noriho, Moniruzzaman Wahammad, Goto Masahiro 2. 論文標題 Development of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity 3. 締誌名 Chemical Communications (月間		
Development of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity. 3. 雑誌名 Chemical Communications 6. 最初と最後の頁 7737 - 7740 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9CC02812A オープンアクセス 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 2. 論文標題 [Original Contribution] Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelles 3. 雑誌名 MEMBRANE 10.5360/membrane.44.130 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 2. 論文標題 「10.5360/membrane.44.130 オープンアクセス 「10.5360/membrane.44.130 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 11. 著者名 Ramadhan Wahyu、 Kagawa Genki、 Hamada Yusei、 Moriyama Kousuke、 Wakabayashi Rie、 Minanihata Kosuke、 Goto Masahiro、 Kamiya Noriho 2. 論文標題 Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cel fular Attachment and Proliferation 3. 雑誌名 ACS Applied Bio Materials 4. 巻 2. 語文標題 Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cel fular Attachment and Proliferation 3. 雑誌名 ACS Applied Bio Materials 6. 最初と最後の頁 2600~2609 月期論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、 Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	55
R製験文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9CCO2812A オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 1. 意文標題 【Original Contribution】Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelies 3. 雑誌名 MEMBRANE おープンアクセス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane,44,130 1. 著者名 Ramadhan Wahyu, Kagawa Genki, Hamada Yusei, Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masahiro, Kamiya Noriho 2. 論文採題 Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation 3. 機誌名 ACS Applied Bio Materials 「自動を表現の関本と表現の関本と表現の関本と表現の関本と表現を表現している。 「表現と最後の関本と表現を表現している。」 「表現によるないのでは、Moriyama Kousuke, Wakabayashi Rie, Minamihata Kosuke, Goto Masahiro, Kamiya Noriho 2. 論文採題 Cellular Attachment and Proliferation 3. 機誌名 ACS Applied Bio Materials 「自動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/acsabm、9b00275 「自動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/acsabm、9b00275 「国際共著	Development of a novel ionic liquid-curcumin complex to enhance its solubility, stability, and activity	2019年
10.1039/C9CC02812A 有		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1.著者名 Kozaka Shuto、Nakata Takahiro、Tajima Shiro、Ueda Taro、Goto Masahiro 2.論文標題 【Original Contribution】Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelles 3.雑誌名 MEMBRANE 4.巻 2.論文標題 【Original Contribution】Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelles 3.雑誌名 MEMBRANE 5.発行年 2019年 10.5360/membrane.44.130	·	
Kozaka Shuto, Nakata Takahiro, Tajima Shiro, Ueda Taro, Goto Masahiro 2.論文標題 【Original Contribution】Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelles 3. 雑誌名 MEMBRANE 6.最初と最後の頁 130~135 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5360/membrane.44.130 7ープンアクセス		
【Original Contribution】Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse Micelles 2019年 2019年 6. 最初と最後の頁 130~135 8. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 130~135 8. 雑誌名 7ープンアクセス 2 1. 著者名 Ramadhan Wahyu、 Kagawa Genki、 Hamada Yusei、 Moriyama Kousuke、 Wakabayashi Rie、 Minamihata Kosuke、 Goto Masahiro、 Kamiya Noriho 2. 論文標題 Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation 3. 雑誌名 ACS Applied Bio Materials 6. 最初と最後の頁 2600~2609 8. オープンアクセス 国際共著 7ープンアクセス 国際共著 7ープンアクセス 国際共著	—	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 日本	[Original Contribution] Skin Permeation Enhancement of Bioactive Macromolecules by Reverse	
有 オープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスが困難 - コープンアクセス 国際共著 - コープンアクセス 国際共著		

Ramadhan Wahyu、Kagawa Genki、Hamada Yusei、Moriyama Kousuke、Wakabayashi Rie、Minamihata 2		国際共著
Ramadhan Wahyu、Kagawa Genki、Hamada Yusei、Moriyama Kousuke、Wakabayashi Rie、Minamihata 2		
Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation 3.雑誌名 ACS Applied Bio Materials 6.最初と最後の頁 2600~2609 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsabm.9b00275 有 オープンアクセス 国際共著	Ramadhan Wahyu、Kagawa Genki、Hamada Yusei、Moriyama Kousuke、Wakabayashi Rie、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho	2
ACS Applied Bio Materials 2600~2609 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1021/acsabm.9b00275 有 オープンアクセス 国際共著	Enzymatically Prepared Dual Functionalized Hydrogels with Gelatin and Heparin To Facilitate Cellular Attachment and Proliferation	2019年
10.1021/acsabm.9b00275 有 オープンアクセス 国際共著		
•		国際共著

	4 344
1 . 著者名	4.巻
Wakabayashi Rie、Obayashi Hiroki、Hashimoto Ryuichiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	55
2 绘文種時	E ※行生
2 . 論文標題	5.発行年
Complementary interaction with peptide amphiphiles guides size-controlled assembly of small	2019年
molecules for intracellular delivery	C = 171 = 14 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chemical Communications	6997 ~ 7000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
10.1039/C9CC02473E	有
t−プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープラックとかくはないに入ばカープファックとスが、四衆	-
	4.巻
ে ৰাঘান Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、	565
Moniruzzaman Muhammad, Goto Masahiro	300
- MOTTTUZZAIIAT MUTAIIIIAU、GOTO MASAITTO 2. 論文標題	5 . 発行年
: 論文标题 In vivo biocompatibility, pharmacokinetics, antitumor efficacy, and hypersensitivity evaluation	
of ionic liquid-mediated paclitaxel formulations	2013 11
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
う、雅蔵石 International Journal of Pharmaceutics	0.取例と取扱の貝 219~226
International Journal of Filatimaceut165	219 - 220
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijpharm.2019.05.020	有
	[-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	1 4 44
1.著者名	4 . 巻
—	4. を 551
Ali Md Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Moniruzzaman Muhammad,	
Ali Md Korban, Moshikur Rahman Md, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Moniruzzaman Muhammad, Kamiya Noriho, Goto Masahiro	551
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、 Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題	55. 発行年
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible	551
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2.論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant	55. 発行年 2019年
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant	55. 発行年 2019年
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2. 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3. 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 72~80
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2. 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3. 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 3. 離誌名 Journal of Colloid 2. jcis.2019.04.095	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	551 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 電載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5.発行年
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5
Ali Md Korban, Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity 3 . 雑誌名	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity 3 . 雑誌名	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity 3 . 雑誌名 ACS Biomaterials Science & Engineering	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 2297~2306
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 . 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 2297~2306
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 .論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3 .雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 最較論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2 .論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity 3 . 雑誌名 ACS Biomaterials Science & Engineering	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 2297~2306
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2. 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3. 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 『最歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcis.2019.04.095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「・著者名 Wakabayashi Rie、Kono Hidetoshi、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2. 論文標題 Transcutaneous Codelivery of Tumor Antigen and Resiquimod in Solid-in-Oil Nanodispersions Promotes Antitumor Immunity 3. 雑誌名 ACS Biomaterials Science & Engineering 『最歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsbiomaterials.9b00260	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 2297~2306
Ali Md Korban、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Kamiya Noriho、Goto Masahiro 2. 論文標題 Synthesis and characterization of choline-fatty acid-based ionic liquids: A new biocompatible surfactant 3. 雑誌名 Journal of Colloid and Interface Science 日本記念	551 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 72~80 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 5 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 2297~2306

1 . 著者名	4. 巻
Razi Muhamad Alif, Wakabayashi Rie, Goto Masahiro, Kamiya Noriho	35
2 . 論文標題	5 . 発行年
Self-Assembled Reduced Albumin and Glycol Chitosan Nanoparticles for Paclitaxel Delivery	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Langmuir	2610 ~ 2618
担乗込みのローノブジカルナイジュカトが叫フト	本芸の左位
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs. langmuir.8b02809	査読の有無 有
- オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	4 · 글 278
2.論文標題	5.発行年
Ionic liquids with methotrexate moieties as a potential anticancer prodrug: Synthesis, characterization and solubility evaluation	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Molecular Liquids	226 ~ 233
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.molliq.2019.01.063	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
オープファクセスではない、又はオープファクセスが困難	該当りる
1 . 著者名	4 . 巻
Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Ishiyama Ryutaro、Owada Yuki、Goto Masahiro、 Kamiya Noriho	52
2.論文標題	5 . 発行年
Enhanced Potential of Therapeutic Applications of Curcumin Using Solid-in-Water Nanodispersion Technique	2019年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN	138 ~ 143
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
10.1252/jcej.18we060	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
The state of the s	1
1.著者名 田原義朗、後藤雅宏	4.巻 83(7)
	. ,
2 . 論文標題 油状ナノ基剤を用いたDDS技術と非侵襲性経皮ワクチンへの応用	5.発行年 2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3 · 雜誌名 化学工学	6. 取例と取後の負 408-411
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

均載論文のDOT(デンタルオフシェクト識別子) 10.1016/j.jphotochem.2018.10.006	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左無
3.雑誌名 Journal of Photochemistry and Photobiology A: Chemistry	6 . 最初と最後の頁 115~118
Effect of macromolecular crowding on the conformational behaviour of a porphyrin rotor	2019年
Kozaka Shuto、Wakabayashi Rie、Annunziata Onofrio、Balaz Milan、Goto Masahiro、Kamiya Noriho、Dzyuba Sergei V. 2.論文標題	369 5 . 発行年
1 . 著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.18we060	 査読の有無 有
JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN	138 ~ 143
Enhanced Potential of Therapeutic Applications of Curcumin Using Solid-in-Water Nanodispersion Technique 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Kamiya Noriho 2.論文標題	5 . 発行年
1.著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Ishiyama Ryutaro、Owada Yuki、Goto Masahiro、	4.巻 52
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
10.1021/acs.1angmu1r.8b02809 オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/acs.langmuir.8b02809	査読の有無 有
Langmu i r	2610 ~ 2618
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
2 . 論文標題 Self-Assembled Reduced Albumin and Glycol Chitosan Nanoparticles for Paclitaxel Delivery	5 . 発行年 2019年
Razi Muhamad Alif, Wakabayashi Rie, Goto Masahiro, Kamiya Noriho	35

1.著者名	
	4.巻
Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata	127
Kosuke, Goto Masahiro, Kamiya Noriho	
	F 整仁在
2.論文標題	5 . 発行年
Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion:	2018年
A case study with phycocyanin	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics	44 ~ 50
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ejpb.2018.01.020	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープングラビスではない、人はカープングラビスが、四邦	-
1.著者名	4 . 巻
Razi Muhamad Alif, Wakabayashi Rie, Tahara Yoshiro, Goto Masahiro, Kamiya Noriho	164
Razi mulamad ATT, wakabayasii Kre, Tahata Tosiirto, ooto masairito, Ramiya Northio	
2.論文標題	5 . 発行年
Genipin-stabilized caseinate-chitosan nanoparticles for enhanced stability and anti-cancer	2018年
	2010-
activity of curcumin	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Colloids and Surfaces B: Biointerfaces	308 ~ 315
The state of the s	
	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.colsurfb.2018.01.041	有
	13
ナープンフクセフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英字夕	4 . 巻
1 . 著者名	
Razi Muhamad Alif, Wakabayashi Rie, Goto Masahiro, Kamiya Noriho	51
2.論文標題	5 . 発行年
·····	
Formation and Characterization of Caseinate?Chitosan Nanocomplexes for Encapsulation of	2018年
Total and onardotorization of oddomato. On total nanocomproxed for Endaporation of	2010-
Curcumin	2010-
Curcumin	
Curcumin	6.最初と最後の頁
Curcumin	
Curcumin	6.最初と最後の頁
Curcumin	6.最初と最後の頁
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN	6 最初と最後の頁 445~453
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN	6 最初と最後の頁 445~453
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無 有
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無 有
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 445 ~ 453 査読の有無 有
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman	6 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	6 . 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 546
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert	6 . 最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Curcumin 3.雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2.論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpharm.2018.05.021	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38
Curcumin 3 . 雑誌名 JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1252/jcej.17we293 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Moshikur Rahman Md.、Chowdhury Md. Raihan、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Characterization and cytotoxicity evaluation of biocompatible amino acid esters used to convert salicylic acid into ionic liquids 3 . 雑誌名 International Journal of Pharmaceutics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 445~453 査読の有無 国際共著 - 4.巻 546 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 31~38

1. 著者名	4 . 巻
・有有有 Chowdhury Md. Raihan、Moshikur Rahman Md、Wakabayashi Rie、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、 Moniruzzaman Muhammad、Goto Masahiro	4 · 중 15
2.論文標題	5.発行年
Ionic-Liquid-Based Paclitaxel Preparation: A New Potential Formulation for Cancer Treatment	2018年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Molecular Pharmaceutics	2484~2488
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1021/acs.molpharmaceut.8b00305	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名	4. 巻
Wakabayashi Rie、Kozaka Shuto、Goto Masahiro	43
2.論文標題	5 . 発行年
Transdermal Drug Delivery System Utilizing Ionic Liquids	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
MEMBRANE	108~108
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.5360/membrane.43.108	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4.巻
後藤雅宏、北岡桃子	25
2 . 論文標題	5.発行年
Solid-in-0il技術を利用した花粉症経皮ワクチン	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
アレルギー・免疫	189~197
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
田原義朗、後藤雅宏	47
2 . 論文標題	5 . 発行年
S/0技術による皮膚浸透促進と化粧品開発	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ファインケミカル	38~44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4.巻
Tahara Yoshiro、Goto Masahiro	33
Tanara Toshirto, Goto masanirto	
2.論文標題	5.発行年
Recent advances of ionic liquids for transdermal drug delivery systems	2018年
Recent advances of forme frigures for transdeman drug defrivery systems	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	303~310
Drug Delivery System	303~310
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2745/dds.33.303	無
10.2740/005.55.505	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
3 7777 2720 2010 (872, 2001)	l
1 . 著者名	4 . 巻
田原義朗、後藤雅宏	34
四/京我切、 牧膝作么	04
2.論文標題	5.発行年
·····	
Solid-in-0il (S/0)化技術と経皮ワクチンへの応用	2018年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
PHARM TECH JAPAN	199 ~ 202
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	四次六名
オープンデクセスとはない、大はオープンデクセスが凶難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	4·술 15
Wakabayashi Rie、Sakuragi Masato、Kozaka Shuto、Tahara Yoshiro、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	15
2.論文標題	5.発行年
	2018年
Solid-in-Oil Peptide Nanocarriers for Transcutaneous Cancer Vaccine Delivery against Melanoma	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecular Pharmaceutics	955~961
MOTECUTAL FRATMACEUTICS	955 - 901
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1021/acs.molpharmaceut.7b00894	有
10.1021/a03.1101pHa1lla0cut./b00034	l H
	国際共著
オープンアクセス <u></u>	
オープンアクセス オープンアクセフではかい ▽はオープンアクセフが困難	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho	- 4.巻 127
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題	- 4.巻 127 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion:	- 4.巻 127 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin	- 4.巻 127 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin	- 4.巻 127 5.発行年 2018年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 44~50
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 44~50
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 44~50
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejpb.2018.01.020	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 44~50 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Hardiningtyas Safrina Dyah、Wakabayashi Rie、Kitaoka Momoko、Tahara Yoshiro、Minamihata Kosuke、Goto Masahiro、Kamiya Noriho 2 . 論文標題 Mechanistic investigation of transcutaneous protein delivery using solid-in-oil nanodispersion: A case study with phycocyanin 3 . 雑誌名 European Journal of Pharmaceutics and Biopharmaceutics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 127 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 44~50

1.著者名	1 4 **
	4 . 巻
A. R. Muhamad, R. Wakabayashi, Y. Tahara, M. Goto, N. Kamiya	164
2.論文標題	5 . 発行年
·····	
Genipin-stabilized caseinate-chitosan nanoparticles for enhanced stability and anti-cancer	2018年
activity of curcumin	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Colloids Surf. B: Biointerfaces	308-315
Softered Safe. B. Bromterrasso	000 010
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本はの左便
	査読の有無
10.1016/j.colsurfb.2018.01.041	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
R. Wakabayashi, K. Yahiro, K. Hayashi, M. Goto, N. Kamiya	18
2.論文標題	5.発行年
Protein-grafted polymers prepared through a site-specific conjugation by microbial	2017年
transglutaminase for an immunosorbent assay	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Biomacromolecules	422-430
D10118C1 011015C0152	+22-430
	*÷+ • + #
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1021/acs.biomac.6b01538	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · =· ·	四际六百
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英型名	1 4 22
1 . 著者名	4 . 巻
Kitaoka Momoko, Naritomi Ayaka, Kawabe Yoshinori, Kamihira Masamichi, Kamiya Noriho, Goto	2
Masahiro	- 7V./
2 . 論文標題	5.発行年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using a solid-in-oil nanodispersion system carrying T	2017年
cell epitope peptide and R848	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Bioengineering & Translational Medicine	6.最初と最後の頁 102~108
Bioengineering & Translational Medicine	102 ~ 108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	102~108 査読の有無
	102 ~ 108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	102~108 査読の有無
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048	102~108 査読の有無 有
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	102~108 査読の有無 有 国際共著
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス	102~108 査読の有無 有
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	102~108 査読の有無 有 国際共著
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib	102~108 査読の有無 有 国際共著 -
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro	102~108 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 243
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2. 論文標題	102~108 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 243 5.発行年
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and	102~108 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 243
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2 . 論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3.雑誌名	102~108 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 243 5.発行年
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3.雑誌名	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2. 論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3. 雑誌名	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3.雑誌名 Journal of Molecular Liquids	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2. 論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3. 雑誌名 Journal of Molecular Liquids	102~108
Bioengineering & Translational Medicine 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/btm2.10048 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lotfi Meysam、Moniruzzaman Muhammad、Sivapragasam Magaret、Kandasamy Shalini、Abdul Mutalib M.I.、Alitheen Noorjahan Banu、Goto Masahiro 2.論文標題 Solubility of acyclovir in nontoxic and biodegradable ionic liquids: COSMO-RS prediction and experimental verification 3.雑誌名 Journal of Molecular Liquids	102~108

1.著者名	. W
	4.巻
Kong Qingliang、Kitaoka Momoko、Wakabayashi Rie、Kamiya Noriho、Goto Masahiro	529
2.論文標題	5 . 発行年
Z. 開文作表題 Transcutaneous immunotherapy of pollinosis using solid-in-oil nanodispersions loaded with T	2017年
cell epitope peptides	2017
cerr eprrope peprroes 3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
International Journal of Pharmaceutics	401 ~ 409
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijpharm.2017.07.020	有
 ↑−プンアクセス	国際共著
ープンテラセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	山水八旬 -
l . 著者名	4 . 巻
田原義朗、後藤雅宏	32
ENDOTED A LANGUE CA	
	5.発行年
Solid-in-Oil (S/O) 技術を利用したタンパク質の経皮デリバリーと経皮ワクチンへの応用	2017年
- Company (
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Drug Delivery System	176-183
 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本語の右無
	査読の有無
なし	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当
コーフファラ ころ こはらない 人はコーフファラ ころけ 四無	
1.著者名	4 . 巻
K. Moriyama, S. Naito, R. Wakabayashi, M. Goto, N. Kamiya	11
- y,	
2.論文標題	5.発行年
Enzymatically prepared redox-responsive hydrogels as potent matrices for hepatocellular	2016年
carcinoma cell spheroid formation	
	て 見知し目然の声
· . 雜誌名	り、最例と最後の貝
・雑誌名 Biotechnol. J.	6 . 最初と最後の頁 1452-1460
Biotechnol. J.	1452-1460
Biotechnol. J. 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1452-1460 査読の有無
Biotechnol. J.	1452-1460
Biotechnol. J. 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087	1452-1460 査読の有無 有
Biotechnol. J. 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087	1452-1460 査読の有無
Biotechnol. J. a a a a a a b a c c c c c c c c c c c c	1452-1460 査読の有無 有
Biotechnol. J. B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1452-1460 査読の有無 有
Biotechnol. J. 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 ブンアクセス	1452-1460 査読の有無 有 国際共著
Biotechnol. J. B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2
Biotechnol. J. a a a a a a a a b a a b a c a a c a c c c c c c c	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
Biotechnol. J. B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 ープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年
Biotechnol. J. a a a a a a a a b a a b a a	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年
Biotechnol. J. a 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 ープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto . 論文標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy using a solid-in-oil 2 nanodispersion system carrying T cell epitope peptide and R848 . 雑誌名	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年
Biotechnol. J. a a a a a a a a b a a b a a	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Biotechnol. J. a a wi論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto 2. 論文標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy using a solid-in-oil 2 nanodispersion system carrying T cell epitope peptide and R848 3. 雑誌名 Bioengineering & Translational Medicine	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 102-108
Biotechnol. J.	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Biotechnol. J. a戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto 2. 論文標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy using a solid-in-oil 2 nanodispersion system carrying T cell epitope peptide and R848 3. 雑誌名 Bioengineering & Translational Medicine	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 102-108
Biotechnol. J. 記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 102-108
Biotechnol. J. B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/biot.201600087 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 I. 著者名 M. Kitaoka, A. Naritomi, N. Kamiya, Y. Kawabe, M. Kamihira, M. Goto 2. 論文標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy using a solid-in-oil 2 nanodispersion system carrying T cell epitope peptide and R848 3. 雑誌名 Bioengineering & Translational Medicine	1452-1460 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 102-108

. ###	1
1.著者名	4 . 巻
M. Kitaoka, R. Wakabayashi, M. Kamihira, M. Goto	11
2.論文標題	5 . 発行年
Solid-in-oil nanodispersions for transdermal drug delivery systems	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Biotechnology J.	1375-1385
	
 最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1002/biot.201600081	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Magaret Sivapragasam, Muhammad Moniruzzaman, Masahiro Goto	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
Recent advances in exploiting ionic liquids for biomolecules: Solubility, stability, and applications	2016年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Biotechnology J.	993-1118
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1002/biot.201500603	有
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
· 심럽다 Noorul Adawiyah, Muhammad Moniruzzaman, Siti Hawatulailaa and Masahiro Goto	7
2. 論文標題	5.発行年
lonic liquids as a potential tool for drug delivery systems	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Med.Chem.Comm.,	1881-1897
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
9車6冊又 00001 (有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
後藤雅宏	52
2.論文標題	5.発行年
経皮吸収促進のためのDDS-新規油状可溶化型のナノ粒子-	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ファルマシア	1035-1037
	査読の有無
 	査読の有無 有
 最載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

〔学会発表〕 計182件(うち招待講演 31件/うち国際学会 49件)
1.発表者名 田原義朗、後藤雅宏
四/// 我以// (文DRVIE/公
2.発表標題
S/0化技術による経皮吸収促進とその応用
3 . 学会等名
日本薬学会第142年会(招待講演)
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
後藤雅宏
2.発表標題
誰もが手軽にセルフで予防接種ができる社会の実現に向けて
3.学会等名
第6回ベンチャー創出連絡協議会講演会(招待講演)
4.発表年
2022年
1.発表者名
古田真理、小坂秀斗、後藤雅宏
2 . 発表標題 感染症予防を目的とした注射に代わる貼付型ワクチンの創生
3 . 学会等名 化学工学会第87年会,
化子工子宏第87年宏,
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
以下吸口、用烟子儿、 位 怀主代、 作宜兴裕、 妆 麽准么
2 . 発表標題
経皮マラリアワクチンの開発および経皮投与による免疫応答解析
3.学会等名
化学工学会第87年会,
4.発表年
2022年

1.発表者名 山口恭平,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2 . 発表標題 抗原修飾自己組織化ペプチドを用いた免疫細胞の活性制御
3 . 学会等名 第24回化学工学会学生発表会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 Rie Wakabayashi, Hiroki Obayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2.発表標題 Size-controlled co-assembly of peptide amphiphiles and small molecules via complementary interaction and its cellular internalization
3.学会等名 PacificChem2021(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Shuto Kozaka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2.発表標題 Promoting percutaneous penetration of peptide antigen by glyceryl monolinoleate cubic liquid crystal
3.学会等名 PacificChem2021(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Hiroki Obayashi Rie Wakabayashi Noriho Kamiya Masahiro Goto
2.発表標題 Controlled co-assembly system for evaluating the effect of biomaterials shape on the cellular internalization
3. 学会等名 PacificChem2021(国際学会)
4.発表年

2021年

1.発表者名
後藤雅宏
2 . 発表標題
2 : 光祝信題 Solid-in-0il化技術を用いた次世代経皮ワクチン技術
3 . 学会等名 第25回日本ワクチン学会(招待講演)
第25回口本ググテン子云(10付調点) 4 . 発表年
2021年
1. 発表者名
真崎葉月,後藤雅宏
2.発表標題
2 : 光表情題 次世代経皮吸収技術による経皮インフルエンザワクチンの開発
3 . 学会等名 第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
古田真理、小坂秀斗、後藤雅宏
2 . 発表標題 感染症予防のための次世代経皮ワクチンシールの開発
3 . 学会等名
第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-0il化技術を用いたマラリアワクチンの経皮製剤化
3 . 学会等名
第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 Development of transdermal malaria vaccine
3 . 学会等名 The 26th Symposium of Young Asian Biological Engineers' Community(YABEC2021)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 古田真理、小坂秀斗、後藤雅宏
2. 発表標題
タンパク質抗原の非侵襲的送達を可能とする経皮ワクチンシールの開発
3 . 学会等名 膜シンポジウム2021
4.発表年 2021年
田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 Transdermal Formulation of Malaria Vaccine Using Solid-in-Oil Technology
3 . 学会等名 膜シンポジウム2021
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 若林里衣、Syahid Fathullah Ghazian Dzaky、樋口亜也斗、後藤雅宏、神谷典穂
2.発表標題 タンパク質の事後修飾が可能な自己組織化ペプチドファイバーの創製とワクチンへの展開
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4.発表年 2021年

1.発表者名 宮﨑祐典・神谷典穂・後藤雅宏
2 . 発表標題 マテリアルズインフォマティクスに基づくイオン液体を用いた薬物経皮吸収促進剤の高効率開発
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4. 発表年 2021年
1.発表者名 小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Cubic液晶における薬物放出性制御と経皮薬物送達システムへの応用
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 外山香凜、北岡桃子、小坂修斗、若林 里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 バイオ医薬品応用のための高効率経皮製剤の開発
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 古田真理、小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 非侵襲性ワクチンシールの創生とその機能性評価
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 Solid-in-0il化技術の経皮マラリアワクチンへの応用
3.学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 原江希,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 イオン液体液晶キャリアを用いたアビガン経皮吸収製剤の開発
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年
1. 発表者名 上野利晃・南畑 孝介・ 若林 里衣・神谷 典穂・後藤 雅宏
2 . 発表標題 がんペプチド抗原を提示したポリマー型キャリアタンパク質の開発
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 外山香凛・小坂秀斗・北岡桃子・若林里衣・神谷典穂・後藤雅宏
2 . 発表標題 Development of Highly Efficient Transdermal Drug Delivery System for Biopharmaceutical Applications
3 . 学会等名 化学工学会第52回秋季大会
4 . 発表年 2021年

4 35 = 247
1.発表者名 若林里衣、Syahid Fathullah Ghazian Dzaky、樋口亜也斗、後藤雅宏、神谷典穂
2 . 発表標題 ペプチドファイバーへのタンパク質修飾とワクチン応用
3 . 学会等名 第15回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Lipidic cubic phase 中でのタンパク質拡散制御と経皮薬物送達への応用
3 . 学会等名 第15回パイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 タンパク質油中分散化技術を用いた経皮マラリアワクチンの創製
3 . 学会等名 第15回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 古田真理、小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 経皮ワクチンの開発に向けたS/O型貼付剤の機能性評価
3.学会等名 第58回化学関連支部合同九州大会
4.発表年 2021年

1.発表者名 田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-0il化技術を利用した経皮マラリアワクチンの創製
3.学会等名 第 5 8 回化学関連支部合同九州大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 膨潤キュービック液晶を用いたタンパク質の経皮デリバリー
3 . 学会等名 第37回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 原江希,小坂秀斗,後藤雅宏
2 . 発表標題 生体適合性イオン液体液晶を用いた経皮吸収製剤の開発
3 . 学会等名 第37回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 古田真理、小坂秀斗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 経皮ワクチン実用化のためのS/0シールの開発とその効果の検証
3 . 学会等名 第37回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 田中敬佑、南畑孝介、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
は、GAIBA FRAMTAIA TUTE AN IT B 不心、 IX BX JE AA
2.発表標題
伝搬阻止抗原を用いた経皮マラリアワクチンの創製
3.学会等名
第37回日本DDS学会学術集会
4.発表年
2021年
1.発表者名
田原義朗、後藤雅宏
2.発表標題
油中ナノ分散技術による経皮吸収の最前線
3.学会等名
日本抗加齢医学会(招待講演)
2021年
1.発表者名
田原義朗、後藤雅宏
2 . 発表標題 イオン液体を利用した経皮DDS研究の進展
3.学会等名
日本膜学会第43年会(招待講演)
4.発表年
2021年
1.発表者名
原江希,小坂秀斗,後藤雅宏
2.発表標題
生体由来材料を用いたイオン液体による経皮吸収液晶製剤の開発
3.学会等名
日本膜学会第43年会
4.発表年
2021年

1 . 発表者名 Masahiro Goto
2.発表標題
Cancer Vaccine by Transdermal Drug Delivery System Utilizing Oil Based Nano-Carrier
3 . 学会等名
Asian Regional Symposium on Biotechnology(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
後藤雅宏
2.発表標題
医療革新をもたらす経皮ワクチンと創薬材料としてのイオン液体
3.学会等名 日本化学会第100春季年会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 後藤雅宏
投版作 公
2 . 発表標題
大学発ベンチャー創出の魅力と課題 注射不要のワクチンを例として
3.学会等名
九州大学学研都市セミナーin Tokyo(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Masahiro Goto
2 7½ ± 45 F5
2 . 発表標題 Advanced Solid-in-Oil Nano-dispersions for Promoting Skin Permeation of Amphiphilic Bioactive Ingredients
2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2
3.学会等名
International Conference on Colloid & Surface Science(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年

2.発表標題
完全非侵襲の次世代経皮吸収技術 その現状と課題 3.学会等名 第25回創薬フォーラム(招待講演) 4.発表年 2019年 1.発表者名 Masahi ro Goto 2.発表標題
第25回創薬フォーラム (招待講演) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Masahi ro Goto 2 . 発表標題
第25回創薬フォーラム (招待講演) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Masahi ro Goto 2 . 発表標題
2019年 1.発表者名 Masahi ro Goto 2.発表標題
Masahiro Goto 2 . 発表標題
Pharmaceutical Application of Ionic Liquids for Drug Delivery Systems
3.学会等名
The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB 2019) (招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 後藤雅宏、小田義士、宮本雅義
反脉作么、小山我工、百 个作我
2 . 発表標題 改良型S/0技術による両親媒性生理活性物質の経皮吸収促進
3.学会等名 第44回日本香粧品学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Masahiro Goto
2. 発表標題 Transdermal cancer vaccine by nano-coating carrier of antigen peptide
and the same control of the same control of the same papers.
3.学会等名 2019 NTNU-Kyushu U Joint Forum(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2019年

1. 発表者名 小坂 秀斗、中田 孝広、田島 史郎、上田 太郎、後藤 雅宏
2 . 発表標題 逆ミセル法による抗原ペプチドの経皮浸透促進と経皮がんワクチンへの応用
3.学会等名 日本膜学会第41年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 後藤雅宏、小田義士、宮本雅義
2 . 発表標題 改良型S/0技術による両親媒性生理活性物質の経皮吸収促進
3.学会等名 第44回日本香粧品学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 R. Wakabayashi, H. Obayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題 Intracellular delivery of small molecular drugs by complementary interaction with peptide amphiphiles
3.学会等名 The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB 2019)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, T. Ueda, M. Goto
2 . 発表標題 Development of transcutaneous cancer vaccine by utilizing reverse micelles for melanoma prevention
3.学会等名 The 14th Asian Congress on Biotechnology (ACB 2019)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 Q. Kong, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Intranasal vaccination by using Solid-In-Oil nanodispersions technology
3 . 学会等名 第35回日本DDS学会学桁集会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 森田佳歩、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 油状基剤を用いたペプチドの経皮送達におけるコリンカチオンイオン液体の利用
3 . 学会等名 第35回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 東島 弘樹, Kong Qingliang,田原 義朗,北岡 桃子,若林 里衣,神谷 典穗,後藤 雅宏
2 . 発表標題 Solid-in-0il製剤によるスギ花粉エピトープペプチドの経皮デリバリー
3 . 学会等名 第35回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 藤澤裕貴、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 アミノ酸をカチオンとして用いるイオン液体による経皮ペプチドデリバリー
3 . 学会等名 第35回日本DDS学会学桁集会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 水野 梨瑚, 田原 義朗, 若林 里衣, 神谷 典穗, 後藤 雅宏
2.発表標題 S/O/W型 アジュバントによる細胞デリバリー能および免疫誘導能の向上
3.学会等名 第35回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 藤澤裕貴、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 カチオンとしてアミノ酸からなるイオン液体を用いた経皮ペプチドデリバリー
3 . 学会等名 第56回化学関連支部合同九州大会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 東島 弘樹, Kong Qingliang,田原 義朗,北岡 桃子,若林 里衣,神谷 典穂,後藤 雅宏
2 . 発表標題 親水化スギ花粉エピトープペプチドを用いたS/O製剤の開発と経皮デリバリー
3 . 学会等名 第56回化学関連支部合同九州大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 藤澤裕貴、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 新規生体由来材料イオン液体を利用した経皮ペプチドデリバリー
3 . 学会等名 第13回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 東島 弘樹, Kong Qingliang,田原 義朗,北岡 桃子,若林 里衣,神谷 典穂,後藤 雅宏
2 . 発表標題 スギ花粉エピトープペプチドの油状ナノ化技術を利用した花粉症の経皮免疫療法
3 . 学会等名 第13回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 東島 弘樹, Kong Qingliang,田原 義朗,若林 里衣,神谷 典穂,後藤 雅宏
2 . 発表標題 抗原エピトープの油状ナノキャリアを用いた花粉症経皮ワクチンの開発
3 . 学会等名 膜シンポジウム2019
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Q. Kong, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Mucoadhesive solid-in-oil nanodispersions for intranasal vaccination
3.学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, T. Ueda, M. Goto
2 . 発表標題 Transcutaneous delivery of peptide antigen with reverse micelles for a development of cancer vaccine
3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
S. KAWAGUCHI, Y. TAHARA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO
2. 発表標題
Salt effect on transdermal adsorption of vaccine antigen by solid-in-oil nanodispersion
3 . 学会等名
18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
4. 発表年
2019年
1. 発表者名
K. Ohira, Y. Tahara, M. Goto, K. Harada
2.発表標題
2 . 宪衣標題 Evaluation of pharmacokinetics using the different base in local anesthesia in vitro
Evaluation of pharmacokinetics using the different base in local anesthesia in vitto
3 . 学会等名
18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
Total Automotive Community of Chamilton and
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
!
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3 . 学会等名
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3 . 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会)
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2 . 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3 . 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会)
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto 2. 発表標題 Transdermal delivery of peptide in oil mediated by choline cation ionic liquid 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会)
K. HIGASHIJIMA, Q. KONG, Y. TAHARA, M. KITAOKA, R. WAKABAYASHI, N. KAMIYA, M. GOTO 2. 発表標題 Transdermal delivery of cedar pollen epitope peptide by Solid-in-Oil technique 3. 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 K. Morita, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kmaiya, M. Goto

1. 発表者名 J. Kaneko, Y. Tahara, M. Kitaoka, Rie Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Improvement of immunity in transcutaneous vaccine by a combination of skin permeation enhancer and adjuvant
3.学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 A. Kashima, S. Kozaka, T. Nakata, S. Tajima, T. Ueda, M. Goto
2. 発表標題 Enhancement of transdermal delivery of biomolecules by reverse micelles
3.学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 H. Fujisawa, Y. Tahara, Rie Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題 Transdermal peptide delivery using ionic liquid consisting of amino acids as cation
3 . 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Riko Mizuno, Yoshiro Tahara, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2 . 発表標題 Development and immunological evaluation using solid-inoil-in-water adjuvant
3 . 学会等名 18th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress(国際学会)
A

2019年

1 . 発表者名
S. Kozaka, T. Nakata, T. Ueda, M. Goto
2 . 発表標題
A reverse micellar carrier as a novel platform for transcutaneous delivery of peptide antigen
3.学会等名
International Conference on Colloid & Surface Science(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
I. 完衣有石 H. Obayashi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
11. Obayaoni, 11. makabayaoni, 11. mamiya, 11. Ooto
2 . 発表標題
Development of peptide-drug co-assemblies induced by complementary interaction and their intracellular localization
3.学会等名
International Conference on Colloid & Surface Science(国際学会)
4.発表年
2010年
2019年
1.発表者名
大平功、田原義朗、原田耕志、後藤雅宏
2.発表標題
2 : 光衣信題 リドカインの経皮吸収特性と麻酔効果の機構解明
3 . 学会等名
膜シンポジウム 2019
4.発表年
2019年
1. 発表者名
鹿嶋綾香、小坂秀斗、中田孝広、上田太郎、後藤雅宏
2.発表標題
自己組織型薬物キャリアとしての逆ミセルの経皮吸収特性
2
3 . 学会等名 膜シンポジウム 2019
IKノノ ハノ ノム Z0 I J
4.発表年
2019年

1.発表者名 Q. Kong, K. Higasijima, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Transcutaneous immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with pollen-galactomannan conjugate for Japanese cedar pollinosis
3.学会等名 2019 Japan/Taiwan/Korea Chemical Engineering Conference(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 森田佳歩、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 生体適合性のイオン液体を用いた経皮ペプチドがんワクチンの開発
3 . 学会等名 第10回イオン液体討論会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 藤澤裕貴、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 生体由来材料イオン液体を用いた中分子ペプチドの経皮デリバリー
3 . 学会等名 第10回イオン液体討論会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, T. Ueda, M. Goto
2. 発表標題 A reverse micellar carrier as a novel platform for transcutaneous delivery of peptide antigen

3.学会等名 The 25th Young Asian Biological Engineer's Community 2019(国際学会)

4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 東島 弘樹, Kong Qingliang,田原 義朗,若林 里衣,神谷 典穂,後藤 雅宏
2.発表標題 Solid-in-0il化技術を利用した経皮デリバリーによる花粉症治療効果
3 . 学会等名 化学工学会 第85年会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 藤澤裕貴、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 イオン液体を利用した経皮ペプチドデリバリーにおけるアミノ酸カチオンの影響
3 . 学会等名 化学工学会 第85年会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Masahiro Goto
2 . 発表標題 Biopharmaceutical Application of Nanotechnology, -Development of Transdermal Vaccine-
3 . 学会等名 JAPAN NANO2019 (招待講演)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Masahiro Goto
2.発表標題 Pharmaceutical Application of Ionic Liquids for Transdermal Drug Delivery Systems
3 . 学会等名 The 6th Asian Pacific Conference on Ionic Liquids(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 大林洋貴,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 両親媒性ペプチドとの相補的互作用によるがん細胞へのドラッグデリバリー
3.学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 若林里衣,後藤雅宏,神谷典穂
2.発表標題 タンパク質の事後集積を指向した酵素反応性の自己組織化ペプチドの開発
3.学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
2 . 発表標題 経皮浸透性向上のための逆ミセルの設計と経皮浸透メカニズムの解明
3.学会等名 化学工学会第84年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 金子淳平,田原義朗,北岡桃子,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2 . 発表標題 経皮ワクチンにおける経皮浸透促進剤と免疫賦活剤の併用による免疫誘導能の向上
3.学会等名 化学工学会第84年会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名
森田佳步,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 生体材料由来イオン液体を用いたペプチドの経皮送達におけるアニオンの経皮浸透促進効果
3.学会等名
化学工学会第84年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 水野梨瑚,田原義朗,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題
S/0/W型アジュバントの開発と免疫学的評価
3.学会等名 化学工学会第84年会
4 . 発表年
2019年
1 . 発表者名
小坂秀斗,中田孝広,田島史郎,上田太郎,後藤雅宏
2 . 発表標題 経皮がんワクチンの開発を目指した逆ミセル法による抗原ペプチドの経皮浸透促進
3.学会等名
化学工学会第84年会
4 . 発表年 2019年
1 .発表者名 河口颯輝,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題
ワクチン抗原の経皮吸収性能に及ぼす塩効果
3 . 学会等名 化学工学会第84年会
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名
Q. Kong, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2. 発表標題
Development of intranasal vaccination using Solid-in-Oil technology
3 . 学会等名
化学工学会第84年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Q. Kong, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
3 7V ± 1 # FR
2 . 発表標題 Intranasal immunization by using Solid-in-Oil nanodispersions
3 . 学会等名
3 . 子云寺石 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4 . 発表年
2018年
- W-1-E
1 . 発表者名
1 . 発表者名 A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4 . 発表年
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4 . 発表年 2018年
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4. 発表年 2018年
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4 . 発表年 2018年
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4. 発表年 2018年
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering (国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto 2 . 発表標題 Utilization of Reverse Micelle Formulation for Transcutaneous Cancer Vaccine
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2. 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto 2. 発表標題 Utilization of Reverse Micelle Formulation for Transcutaneous Cancer Vaccine 3. 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
A. Yamada, R. Wakabayashi, Y. Tahara, N. Kamiya, M. Goto 2 . 発表標題 Effect of amino acids for transcutaneous vaccine using Solid-in-Oil nanodispersion 3 . 学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 S. Kozaka, T. Nakata, J. Akagi, S. Tajima, E. Kunitomo, T. Ueda, S. Matsuoka, M. Goto 2 . 発表標題 Utilization of Reverse Micelle Formulation for Transcutaneous Cancer Vaccine

1.発表者名 H. Obayashi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Creation of orderly co-assemblies consisted of peptide amphiphileand drugs through complementary interaction
3.学会等名 The 31th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 R. Wakabayashi, H. Obayashi, N. Kamiya, M. Goto
2. 発表標題 Complemantary interaction with peptide amphiphiles guided the intracellular delivery of small molecular drugs,
3.学会等名 The 24th Symposium of Young Asian Biological Engineer's Community(国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Y. Tahara, M. Kaho, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2. 発表標題 Transdermal drug delivery mediated by ionic liquids, which dispersed drugs in oil-based penetration enhancer
3.学会等名 The 24th Symposium of Young Asian Biological Engineer's Community(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 R. M. Moshikur, Y. Tahara, R. Wakabayashi, M. Moniruzzaman, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Methotrexate lonic liquid moieties as the potent anticancer prodrugs: Characterization and solubility evaluation

3.学会等名 The 6th Asian-Pacific Conference on Ionic Liquids & Green Processes (国際学会)

4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 M. R. Chowdhury, R. Wakabayashi, Y. Tahara, M. Moniruzzaman, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Ionic Liquids Based Paclitaxel IV Injection: A New Potential Formulation for Cancer Treatment
3 . 学会等名 The 6th Asian-Pacific Conference on Ionic Liquids & Green Processes (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 R. M. Moshikur, R. Wakabayashi, Y. Tahara, M. Moniruzzaman, N. Kamiya, M. Goto
2. 発表標題 Salicylate amino acid esters as the novel Active Pharmaceutical Ingredient Ionic Liquids
3 . 学会等名 The 10th AFOB Regional Symposium(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 大林洋貴,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題 Development of two-component drug delivery carriers using complementary interaction
3 . 学会等名 第28回日本MRS学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 水野梨瑚,田原義朗,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2 . 発表標題 S/O/W型アジュバントによる抗原提示細胞の活性化と抗原送達能の向上
3 . 学会等名 バイオマテリアル学会
4 . 発表年 2018年
2010

1.発表者名
森田佳步,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題
生体材料由来イオン液体を用いた油状基剤中のペプチドの皮膚浸透性向上
3 . 学会等名
第9回イオン液体討論会
. Net
4.発表年
2018年
1. 発表者名
森田佳步,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 水土/布内
2 . 発表標題
生体物質由来イオン液体による抗原ペプチドの経皮送達と皮膚浸透メカニズムの解明
2.
3 . 学会等名
第50回化学工学会秋季大会
A 改丰左
4 . 発表年
2018年
1. 発表者名
Q. Kong, M. Kitaoka, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題
2 . 発表標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香,小坂秀斗,後藤雅宏
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年
Transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions loaded with T cell epitope peptides 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 鹿嶋綾香, 小坂秀斗, 後藤雅宏 2 . 発表標題 逆ミセルによるヒアルロン酸の経皮吸収促進 3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会 4 . 発表年

1.発表者名 金子淳平,岡篤志,田原義朗,北岡桃子,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 経皮浸透促進剤と免疫賦活剤の併用による高効率油状経皮ワクチンの開発
3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 阿部弓依,田原義朗,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-0il製剤の経口投与によるリンパ組織への抗原送達とワクチン開発
3 . 学会等名 第50回化学工学会秋季大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 田原義朗,水野梨瑚,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2.発表標題 免疫DDSキャリアを志向したS/O/W型エマルションの設計
3.学会等名 第50回化学工学会秋季大会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 小坂秀斗,桜木優人,若林里衣,田原義朗,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 悪性メラノーマの経皮免疫療法をめざした抗原ペプチドの油状ナノキャリアの開発
3 . 学会等名 第12回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 田原義朗,森田佳步,M. R. Chowdhury,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2.発表標題 生体分子で構成されるイオン液体の設計とDDS
3 . 学会等名 第12回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 水野梨瑚,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 S/0/W型アジュパントによる免疫誘導能の向上
3 . 学会等名 第12回バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 森田佳步,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 生体適合性イオン液による抗原ペプチドの経皮送達
3 . 学会等名 第29回九州地区ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 水野梨瑚,田原義朗,若林里衣,後藤雅宏
2.発表標題 S/0/W型アジュバントの開発と細胞毒性評価
3 . 学会等名 第29回九州地区ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 金子淳平,岡篤志,田原義朗,北岡桃子,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2.発表標題 油状経皮ワクチン製剤におけるCpGアジュバントの検討
3 . 学会等名
第29回九州地区ケミカルエンジニア討論会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 河口颯輝,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 S/O化技術によるワクチン創製における塩の影響とオルガノゲルの利用
5/○化技術によるソクテノ創装にのける塩の影響とオルカナケルの利用
3 . 学会等名 第29回九州地区ケミカルエンジニア討論会
4.発表年 2018年
1.発表者名
Q. Kong, M. Kitaoka, Y. Tahara, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題
Enhancement of transcutaneous vaccine delivery by using Solid-in-Oil nanodispersions with natural terpenes
3 . 学会等名 第29回九州地区ケミカルエンジニア討論会
4.発表年 2018年
1.発表者名
森田佳歩,田原義朗,若林里衣,神谷典穗,後藤雅宏
2. 発表標題
生体物質由来イオン液体を用いた油状経皮ワクチン製剤の組成検討
3 . 学会等名 化学関連支部合同九州大会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 金子淳平,岡篤志,田原義朗,北岡桃子,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 油状ワクチン製剤における経皮デリバリーの向上
3 . 学会等名 化学関連支部合同九州大会
4.発表年 2018年
1.発表者名 森田佳步,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
林山庄少,山凉我切,石怀主钦,伊古兴修,设脉准么
2 . 発表標題 生体材料由来イオン液体を利用した抗原ペプチドの経皮デリバリー
3 . 学会等名 第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
小坂秀斗,桜木優人,若林里衣,田原義朗,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題
抗原ペプチドの油状ナノ分散化技術を利用した経皮ワクチンによる悪性メラノーマ予防効果
3 . 学会等名
第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 金子淳平,岡篤志,田原義朗,北岡桃子,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 油状ワクチン製剤による抗原の経皮デリバリーと免疫メカニズム
3 . 学会等名 第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 田原義朗,森田佳歩,M. R. Chowdhury,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 生体分子由来イオン液体を利用した DDS の現状
3.学会等名 第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 若林里衣,河野秀俊,田原義朗,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-Oil 化経皮製剤によるがんの免疫治療効果
3 . 学会等名 第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 阿部弓依,田原義朗,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題 経口ワクチン開発におけるSolid-in-0il製剤からの抗原放出制御
3 . 学会等名 第34回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤雅宏、小坂秀斗、中田孝広、上田太郎、松岡信也
2 . 発表標題 生体高分子の経皮促進キャリアとしての逆ミセル
3 . 学会等名 第43回日本香粧品学会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 小坂秀斗,桜木優人,若林里衣,田原義朗,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 抗原ペプチドの油状ナノキャリアを用いた悪性メラノーマの経皮免疫治療
3 . 学会等名 日本膜学会第40年会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤雅宏
2 . 発表標題 注射に変わる痛みのない非侵襲性経皮ワクチンの創製
3 . 学会等名 第 6 回予防早期医療創成ワークショップ(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 後藤雅宏
2 . 発表標題 油状可溶化型のS/0ナノ粒子を用いた経皮ワクチンの開発
3 . 学会等名 薬剤学会第32年会(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 後藤雅宏、桜木優人、若林里衣、神谷典穂
2 . 発表標題 抗原ペプチドの油状型ナノキャリアを利用した経皮がんワクチンの創製
3.学会等名 日本膜学会第39回年会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 後藤雅宏、福田繭、宮地伸英
2 . 発表標題 ペプチド脂質の自己組織化能を利用した新規ゲル基材の調製とその経皮吸収特性
3.学会等名 第42回日本香粧品学会
4.発表年 2017年
1.発表者名 後藤雅宏
2.発表標題 大学発の創薬ベンチャー起業 その魅力と課題
3.学会等名 徳島地区化学工学懇話会記念講演会(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 山田 愛子 若林 里衣 田原 義朗 神谷 典穂 後藤雅宏
2 . 発表標題 アミノ酸を経皮吸収促進剤として利用したS/O経皮ワクチンの開発
3.学会等名 第54回化学関連支部合同九州大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 若林里衣、桜木優人、田原義朗、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-Oil 化技術を用いたメラノーマに対する経皮ワクチンの開発
3 . 学会等名 第33回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2017年

1.発表者名 田原義朗,河野秀俊,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2.発表標題 抗原タンパク質封入Solid-in-0ilによる経皮デリバリーと免疫システム
3 . 学会等名 第33回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 山田 愛子 若林 里衣 田原 義朗 神谷 典穂 後藤雅宏
2 . 発表標題 S/0経皮ワクチンにおけるアミノ酸の経皮吸収促進効果
3.学会等名 第33回日本DDS学会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Q. Kong, M. Kitaoka, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題 Development of a transcutaneous pollinosis immunotherapy using Solid-in-Oil nanodispersions
3.学会等名 第33回日本DDS学会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Q. Kong, M. Kitaoka, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題 Development of a transcutaneous immunotherapy of pollinosis using solid-in-oil nanodispersions
3 . 学会等名 Kyushu University Educational Innovation Symposium
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名
Masahiro Goto
2.発表標題
Transdermal cancer vaccine by Solid-in-Oil(S/O) nanodispersions
Transactinal cancer receive by certain enterior interior
3.学会等名
ACB 2017(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Masahiro Goto
2.発表標題
Cancer vaccine by transcutaneous antigen-peptide delivery using solid-in-oil technique
2 24/4/42
3.学会等名
APCChE 2017(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
田原義朗,若林里衣,北岡桃子,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題
Solid-in-0il化技術を利用した生体高分子の経皮デリバリー
3.学会等名
第11回バイオ関連化学シンポジウム
4.発表年
2017年
1.発表者名
河照系份 口唇美的 类状用术 油公曲箱 多雄姓宁
河野秀俊、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
河野芳俊、田原義朗、石林圭伐、神台央僧、俊膝推宏
刈野 穷夜、田原莪朗、石林主代、神 台央 橋、夜膝雅宏
2.発表標題
2.発表標題
2.発表標題
2.発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名
2.発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名 第11回バイオ関連化学シンポジウム
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名 第11回バイオ関連化学シンポジウム 4 . 発表年
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名 第11回バイオ関連化学シンポジウム
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名 第11回バイオ関連化学シンポジウム 4 . 発表年
2 . 発表標題 抗原タンパク質の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製 3 . 学会等名 第11回バイオ関連化学シンポジウム 4 . 発表年

1 . 発表者名 田原義朗,若林里衣,北岡桃子,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 生体高分子の油中ナノ分散化技術を利用した経皮デリバリーと経皮免疫
3 . 学会等名 化学工学会第49回秋季大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 山田 愛子 若林 里衣 田原 義朗 神谷 典穂 後藤雅宏
2.発表標題 アミノ酸添加S/O製剤を利用した経皮ワクチンの開発
3.学会等名 化学工学会第49回秋季大会
4.発表年 2017年
1.発表者名 田原義朗,荒木祥太,森田佳歩,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題 イオン液体を用いた経皮ドラッグデリバリーシステム
3.学会等名 第8回イオン液体討論会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Aiko Yamada, Rie Wakabayashi, Yoshiro Tahara, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2. 発表標題 Solid-in-Oil nanodispersion with an amino acid as a permeation enhancer for transcutaneous vaccine
3 . 学会等名 The 30th International Symposium on Chemical Engineering
4 . 発表年 2017年

4 Part va
1.発表者名 後藤確安
後藤雅宏
2 . 発表標題
注射不要の未来への挑戦 バイオ医薬品の皮膚透過を可能にする次世代経皮吸収技術
2
3.学会等名
九州大学学術研究都市セミナーin東京2017(招待講演)
4.発表年
2017年
2011 7
1.発表者名
後藤雅宏
2.発表標題
薬物の皮膚への高浸透を可能にする次世代コロイド技術
3.学会等名
3 . チ云寺台 第35回コロイド・界面技術シンポジウム(招待講演)
为50回コロイド・56回IXMIフフかンプム(Initime)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Masahiro Goto
o TV-true
2.発表標題
Novel Cancer Vaccine by Transcutaneous Drug Delivery System Using Solid-in-Oil Nano Carrier
3. 学会等名
10th ARS 2018(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
森田佳歩、田原義朗、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題
2 . 光衣標題 生体材料由来イオン液体を用いた経皮ワクチン製剤の開発
上 仲10 TT 山小 I クノ IX 仲で 用 V IIに社区 ノノノノ 衣削 VI 州 尤
3 . 学会等名
第20回化学工学会学生発表会
4. 発表年
2018年

1 . 発表者名 田原義朗,森田佳步,荒木祥太,若林里衣,神谷典穂,後藤雅宏
2 . 発表標題
イオン液体を用いた経皮ワクチンの開発
3 . 学会等名 化学工学会第81年会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 阿部弓依、田原義朗、後藤雅宏
2 . 発表標題 経口投与におけるS/O製剤からの抗原徐放とワクチン開発
3 . 学会等名 化学工学会第83年会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤雅宏、桜木優人、若林里衣、神谷典穂
2 . 発表標題 油状可溶化型のナノキャリアを利用した経皮がんワクチンの創製
3.学会等名 日本膜学会第38回年会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Masahiro Goto
2 . 発表標題 Cancer Immunotherapy by Transdermal Drug Delivery Systems Using Nano Coating Drug Carrier
3.学会等名 ICES Seminar(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1.発表者名 荒木祥太、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 イオン液体の経皮浸透促進効果を利用した経皮免疫化
3 . 学会等名 第32回日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 Solid-in-0il化経皮製剤による抗腫瘍免疫の誘導
3 . 学会等名 第32回 日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 河野秀俊、桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 抗原タンパク質のSolid-in-0il化技術を用いた経皮がんワクチンの創製
3 . 学会等名 第32回 日本DDS学会学術集会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Masahiro Goto
2 . 発表標題 Challenge of Commercialization of Surfactant-Coating Nano Capsules Invented in University
3 . 学会等名 International Colloid & Surfaces Symposium in Asia(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Masahiro Goto
2.発表標題
Challenge of Commercialization of Transdermal Drug Delivery Systems Invented in University
2
3 . 学会等名 International Symposium on Biotechnology and Bioengineering(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1
1.発表者名 岡篤志、北岡桃子、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 CpGをアジュバントとして用いた花粉症経皮免疫療法
Opoでナフュバント この C用いたに初近経及光波原本
3 . 学会等名
第53回化学関連支部合同九州大会
4.発表年
2016年
1. 発表者名
河野秀俊、桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題
抗原タンパク質の油状ナノ分散化による経皮がんワクチンの創製
3.学会等名
第53回化学関連支部合同九州大会
4.発表年
2016年
1.発表者名
Masahiro Goto
2 及中福田
2 . 発表標題 Commercialization of Nano-capsules for Transdermal Drug Delivery Systems
3 . 学会等名 Asian Federation of Biotechnology(AFOB) Summer Forum(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
2010—

1 . 発表者名 Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2 . 発表標題 Transdermal pollinosis immunotherapy by Solid-in-Oil nanodispersions,
3 . 学会等名 化学工学会第48回秋季大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 岡篤志、北岡桃子、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2.発表標題 CpGをアジュバントとして利用した経皮花粉症免疫療法の開発
3.学会等名 化学工学会第48回秋季大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 河野秀俊、桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 油状ナノ分散化技術を用いた抗原タンパク質による経皮がんワクチンの創製
3 . 学会等名 化学工学会第48回秋季大会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 抗原ペプチドの油状ナノ分散化技術を用いた低侵襲性がんワクチンの創製
3 . 学会等名 第10回 バイオ関連化学シンポジウム
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 A.Oka, M.Kitaoka, R.Wakabayashi, N.Kamiya, M.Goto
2 . 発表標題 Transcutaneous immunotherapy of Japanese ceder pollinosis with CpG as an adjuvant
3 . 学会等名 The 22nd symposium of Young Asian Biological Engineers' Community(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 H. Kouno, M. Sakuragi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2 . 発表標題 Development of transcutaneous cancer vaccine by Solid-in-Oil technology
3.学会等名 The 22nd symposium of Young Asian Biological Engineers'Community(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1. 発表者名
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto 2 . 発表標題
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto 2 . 発表標題 Development of Transcutaneous Pollinosis Immunotherapy by Solid-in-Oil technology 3 . 学会等名
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto 2 . 発表標題 Development of Transcutaneous Pollinosis Immunotherapy by Solid-in-Oil technology 3 . 学会等名 The 22nd symposium of Young Asian Biological Engineers' Community(国際学会) 4 . 発表年
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto 2. 発表標題 Development of Transcutaneous Pollinosis Immunotherapy by Solid-in-Oil technology 3. 学会等名 The 22nd symposium of Young Asian Biological Engineers' Community(国際学会) 4. 発表年 2016年
Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto 2.発表標題 Development of Transcutaneous Pollinosis Immunotherapy by Solid-in-Oil technology 3.学会等名 The 22nd symposium of Young Asian Biological Engineers' Community(国際学会) 4.発表年 2016年 1.発表者名 M. Sakuragi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto

1.発表者名
Masahiro Goto
ᇰᇫᆇᄺᄧ
2 . 発表標題
Solid-in-0il (S/O) Nanodispersions for Transdermal Cancer Immunotherapy
3.学会等名
AIChE 2016 annual meeting(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2016年
20104
4 W=±47
1. 発表者名
後藤雅宏
2.発表標題
2 :
ノノ位丁の夫用化例 剧条技術から主まれた同反返化桩品
3.学会等名
文部科学省ナノテクプラットフォームセミナー(招待講演)
スポイチョナノナップファドフォーム C ミナー (1017時 次)
4.発表年
2016年
20104
1.発表者名
後藤雅宏
汉
2.発表標題
次世代の経皮吸収技術が拓く未来 ビジネス展開の可能性とその課題
NETWORK WANTED TO TAKE COME
3.学会等名
QBファンド第 2 回技術交流会(招待講演)
4.発表年
2016年
1.発表者名
M. Sakuragi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
m. oakaragr, k. nakavayaoni, k. kamiya, m. ooto
2 . 発表標題
Solid-in-oil nanodispersions for transcutaneous cancer vaccine by induction of antitumor immunity against melanoma
22.12 2.1
3 . 学会等名
The 29th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4.発表年
2016年

1 . 発表者名 Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2 . 発表標題 Development of a transcutaneous immunotherapy for Japanese Cedar Pollinosis using Solid-in-Oil nanodispersions
3.学会等名 The 29th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 A.Oka, M.Kitaoka, R.Wakabayashi, N.Kamiya, M.Goto
2.発表標題 Transcutaneous immunotherapy of Japanese ceder pollinosis using CpG as an adjuvant
3.学会等名 The 29th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 H. Kouno, M. Sakuragi, R. Wakabayashi, N. Kamiya, M. Goto
2.発表標題 Development of transcutaneous cancer vaccine by oil based nano dispersion technique
3.学会等名 The 29th International Symposium on Chemical Engineering(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 河野秀俊、桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏
2 . 発表標題 タンパク質製剤の油状ナノ粒子化(S/0)技術を利用した経皮がんワクチンの創製
3 . 学会等名 第22回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム

4 . 発表年 2016年

1.発表者名 後藤雅宏
2 . 発表標題 注射に変わる痛みのない非侵襲性経皮ワクチンの創製 花粉症の減感作治療を例としてー
3 . 学会等名 第 6 回予防早期医療創成ワークショップ(招待講演)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2 . 発表標題 Transcutaneous immunotherapy for pollinosis using Solid-in-Oil Nanodispersion
3 . 学会等名 9th AFOB Regional Symposium(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Masahiro Goto
2 . 発表標題 Cancer immunotherapy by Oil-Based Nano Carrier
3.学会等名 9th AFOB Regional Symposium(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Qingliang Kong, Momoko Kitaoka, Rie Wakabayashi, Yoshinori Kawabe, Masamichi Kamihira, Noriho Kamiya, Masahiro Goto
2 . 発表標題 Transcutaneous pollinosis immunotherapy by using Solid-in-Oil technology
3 . 学会等名 化学工学会 第82年会
4.発表年 2017年

1.発表者名 岡篤志、北岡桃子、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏	
2.発表標題 新規界面活性剤を用いたSolid-in-Oil化技術によるタンパク質の経皮デリバリー	
3 . 学会等名 化学工学会 第82年会	
4 . 発表年 2017年	
1 . 発表者名 河野秀俊、桜木優人、若林里衣、神谷典穂、後藤雅宏	
2.発表標題 抗原タンパク質にSolid-in-0il化技術を用いた経皮がんワクチンの創製	
3.学会等名 化学工学会 第82年会	
4 . 発表年 2017年	
〔図書〕 計6件	
1. 著者名 A. Vijaya Bhaskar Reddy, M. Moniruzzaman and M. Goto	4 . 発行年 2019年
2.出版社 Elsevier Ed.	5.総ページ数 316
3.書名 In Comprehensive Biotechnology	
1 . 著者名 M. Moniruzzaman, H. Mahmood, Masahiro Goto	4 . 発行年 2018年
2. 出版社 Royal Society of Chemistry	5.総ページ数 ⁴⁵⁵
3.書名 Ionic Liquid Devices	

1.著者名	4 . 発行	任
M. Moniruzzaman, H. MahMood, M. Goto	2017年	
w. womiuzzanam, m. wamwood, w. Goto	2017-4	•
2. 出版社	5.総ペ	- ジ数
RSC Book	455	→ 3 X
NOC BOOK	400	
3.書名		
Smart Materials Series No.28		
Onat Charter and Gerres No.20		
1.著者名	4 . 発行	
M. Kitaoka, M. Goto	2017年	
m. Krtaska, m. octo	2017-	
2. 出版社	5.総ペ	- ジ数
Springer	428	- 20
op mgo.		
3 . 書名		
Solid-in-oil Technique to Increase Skin Permeation' in Skin Permeation and Disposit	tion of	
Therapeutic and Cosmeceutical Compounds		
1.著者名	4.発行	年
後藤雅宏	2017年	
区际中心	2017-	
2. 出版社	5.総ペ	ージ数
シーエムシー出版	386	- 20
3 . 書名		
次世代経皮吸収型製剤の開発と応用		
X = 1 (M = 20 X X = 20 X X = 20 X X X = 20 X X X X X X X X X X X X X X X X X X		
1.著者名	4.発行	年 年
M. Kitaoka, M. Goto	2016年	
2.出版社	5.総ペ	ージ数
Humana Press	358	
3 . 書名		
Transcutaneous Immunization Using Nano-sized Drug Carriers		
	_	
〔出願〕 計6件		
産業財産権の名称	発明者	権利者
ワクチン製剤	後藤雅宏、小坂秀	同左
	人、中田孝広	
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、PCT/JP2019/46846	2019年	外国
		, H

A NVOI LANGE - A ST		1 10-0-1-4
産業財産権の名称	発明者	権利者
経皮吸収型貼付剤	後藤雅宏、石濱航平	同左
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2019-189199	2019年	国内
1081 10892010 100100	2013—	四四
産業財産権の名称	発明者	権利者
経皮吸収剤及び貼付剤	後藤 雅宏 小坂	同左
	秀斗、石濱 航平	
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2020-056321	2020年	国内
	-	
産業財産権の名称	発明者	権利者
ワクチン製剤	後藤雅宏、小坂秀	同左
プンテン級用		同生
	人、中田孝広	
	U.G. be	
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2018-224059	2018年	国内
	•	
産業財産権の名称	発明者	権利者
Method for Producing Nonaqueous Composition for External Use Skin	Masayoshi	同左
mothed for Fredering Heriaquesus composition for External cost etch	Miyamoto, Masahiro	1-3-2
	Goto	
立类叶立体 0.连转 - 来只		
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、PCT/EP2018-077087	2018年	外国
	.	
産業財産権の名称	発明者	権利者
免疫組成物	後藤雅宏、田原義	同左
	朗、水野梨瑚	
	Į.	
産業財産権の種類 番号	出願年	国内・外国の別
産業財産権の種類、番号 特許、特願2018-99129	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

九州大学後藤研究室 http://www.bioeng.cstm.kyushu-u.ac.jp/index.htm 次世代経皮吸収研究センター http://www.bioeng.cstm.kyushu-u.ac.jp/ksu_re_center/index.html

6 . 研究組織

	・ N/フ Lind ph		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	田原 義朗	同志社大学・理工学部・准教授	
研究分担者	(TAHARA Yoshiro)		
	(30638383)	(34310)	

6.研究組織(つづき)

_ 0	. 研究組織 (づつき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	神谷 典穂	九州大学・工学研究院・教授	
研究分担者	(KAMIYA Noriho)		
	(50302766)	(17102)	
	若林 里衣	九州大学・工学研究院・助教	
研究分担者	(WAKABAYASHI Rie)		
	(60595148)	(17102)	
	南畑 孝介	九州大学・工学研究院・助教	
研究分担者	(MINAMIHATA Kosuke)		
	(90648586)	(17102)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関	
マレーシア	Universiti Teknologi PETRONAS	
中国	瀋陽薬科大学	
米国	ニューヨーク州立大学	
米国	ニューヨーク州立大学	
マレーシア	マレーシアペトロナス工科大学	